

公用文 用字・用語・送り仮名 例集

平成26年3月2日改訂新版

(平成22年改定新常用漢字に準拠)

改定に伴う変更箇所は下線付き赤太字で区別しています

解 説

「公用文の表記が、ある基準に準拠することは、表記の統一化を進める上できわめて重要なことである。表記の統一化は、行政と国民、あるいは、行政機関相互の伝達や理解を円滑にする」（「公用文表記の基礎知識」より）

本県（静岡県）の公用文作成における用語・用字・送り仮名については、静岡県文書管理規程第10条及び平成22年経営管理部長通知「新しい常用漢字表の告示に伴う公用文における漢字使用等について」に基づくべきものである。

本県「文書事務の手引」も国として唯一の用例を定めた「文部省用字用語例」及び「文部省公用文送り仮名用語集」に準拠しているが、一方で（知事部局外の）本県議会における用字用語については「議会用字用語集」として独自の用例（ローカルルール）が示されている。

この例集においては、本県にかかわらず標準的な公用文作成に用いることを主たる目的として編集しているので、議会答弁作成等に当たってはこれらのことも留意されたい。

また、表中の記号、ポスター、ちらしなど一般的公用文以外の用途においては、その目的や対象に応じた、より最適な表記とすべきはもちろんである。

＜編集・発行 鈴木 浩伸＞

＜特に「誤り」の見られる用字・用語・送り仮名例＞

×「**予め**」⇒○「あらかじめ」：×「**報告して頂く**」⇒○「報告していただく」：×「**委員の内5人は**」⇒○「委員のうち5人は」：×「**概ね**」⇒○「おおむね」：×「**…の恐れがある**」⇒○「…のおそれがある」：×「**6ヶ月**」⇒○「6か月」：×「**1から3**」⇒○「1から3まで」：×「**…して下さい**」⇒○「…してください」：×「**先に通知の**」⇒○「さきに通知の」：×「**数日経った**」⇒○「数日たった」：×「**5月1日付**」⇒○「5月1日付け」：×「**取り組み（名詞）**」⇒○「取組」：×「**何故**」⇒○「なぜ」：×「**一人当たり**」⇒○「1人当たり」：×「**先程**」⇒○「先ほど」：×「**益々**」⇒○「ますます」：×「**連絡して良い**」⇒○「連絡してよい」

あ			
相…	赤らめる	明け方	あしらう
相合い傘	明かり	挙げ句[…した挙げ句]	味わい
合い鍵	上がり	明け暮れ	味わう
相変わらず	上がり口	上げ潮	明日[あす]
愛がん[愛がん動物]	上がる[物価が上がる]	開けたて	預かり
合気道	挙がる[成果が挙がる]	挙げて[国を挙げて]	預り金
挨拶	揚がる[意気が揚がる, 歓声が揚がる]	明け離れる	あずかる[相談にあずかる]
相性[「合性」とは書かない]	明るい	揚げ物	預かる[荷を預かる]
合図	明るさ	空ける[時間を空ける]	預入金
相対する	明るみ	明ける[夜が明ける]	小豆[あずき]
間柄	明るむ	開ける[窓を開ける]	預け金
相づち	赤ん坊	…(て)あげる[貸してあげる]	預ける
相手	飽き	上げる[品物を上げる]	汗ばむ
あいにく	空き缶	挙げる[一例を挙げると]	焦り
合いの手	空き巢	揚げる[船荷を揚げる, 歓声を揚げる]	焦る
合服	空き地	明渡し	遊び
合間	空き店舗	明渡し期日	価[商品に価をつける]
曖昧	商い	明け渡す	値[そのものの持つ値]
あいまって	商う	憧れる	値する[賞賛に値する, 一読に値する]
合う[計算が合う]	秋晴れ	浅い	あだ討ち
会う[客と会う]	空き瓶	嘲る	与える
遭う[災難に遭う]	空き間	朝起き	あたかも
あえて(副詞)[あえて…する, あえて注意する]	秋祭り	浅漬け	温かい[温かい料理]
青い	空き家	浅はかだ	暖かい[暖かい心]
仰ぐ	明らかだ	欺く	温かみ
青さ	諦める	鮮やかだ	暖かみ
あおむく[「仰向く」とは書かない]	飽きる	足[足しげく]	温まる[心温まる話]
赤い	空く[席が空く]	脚[机の脚]	暖まる[空気が暖まる]
赤組	明く[背の明いた服]	足掛かり	温める[スープを温める]
(…に)飽かして[暇に飽かして]	開く[幕が開く]	足掛け	暖める[室内を暖める]
明かす	あくどい[「悪どい」とは書かない]	味付け	当たって[…に当たって]
明らむ	飽くまで[飽くまで闘う]	足止め	頭打ち
赤らむ	明くる(朝)[明くる日]	足取り	頭割り
	揚げ足	足並み	新しい
	揚げ油	足踏み	新しがる

新しさ
 辺り[辺り一面]
 当たり[…に当たり, …に当たって]
 当たり障り
 当たり前
 当たる[予報が当たる]
 あちら[あちらの商品は]
 厚い[厚い壁]
 暑い[暑い夏]
 熱い[熱い湯]
 扱い
 扱う
 厚かましい
 暑がる
 厚さ
 暑さ
 熱さ
 あっせん
 …(に)あっては[言い換え例「…(の場合)は」]
 集まり
 集まる
 厚み
 熱め[熱めのお湯につかる]
 集める
 あつらえる
宛
宛て[…宛ての通知]
 当て
 当てこすり
 当て込む
宛先
 当て字
 当て職[「充て職」とは書かない]
宛名
 当て外れ

当てる[日に当てる, 言い当てる]
 充てる[建築費に充(当)てる]
宛てる
 後[後で…する, 後が無い]
 跡[苦心の跡が見える, 跡目を継ぐ]
痕
 後押し
 跡形
 後片付け[あとで片付ける場合]
 跡片付け[あと(場所的)を片付ける場合]
 後継ぎ
 跡継ぎ
 跡付け
 跡取り
 後払い
 後回し
 後戻り
 穴埋め
 あながち[「強ち」とは書かない]
 あなた[「貴方」とは書かない]
 侮り
 侮る
 兄
 姉
 暴き出す
 暴く
 暴れる
 浴びせる
 浴びる
 危ない
 危ながる
 油[火に油を注ぐ]
 脂[脂がのる年ごろ]
 油揚げ
 脂ぎる

油差し
 油染みる
 油漬け
 あほう[「阿呆」とは書かない]
 あほらしい
 海女[あま]
 甘い
 甘える
 天下り
 雨曇り
 余す
 雨垂れ
 あまつさえ
 天の川
 あまねく
 甘み[「甘味」とは書かない]
 雨漏り
 甘やかす
 雨宿り
 余り[余り良くない, …した余り]
 余りに[余りにも]
 余る
 甘んずる
 編み上げ
 編上靴
 編み上げる
 編み方
 網引き
 編み物
 編む
 雨上がり
 雨降り
 危うい
 危うく
妖しい

怪しい
 怪しがる
 怪しげだ
 怪しむ
 操り人形
 操る
 危ぶむ
 過ち[過ちを犯す]
 過つ[過って…する]
 誤り
 誤る[適用を誤る]
 謝る[不行き届きを謝る]
 歩み
 歩み寄り
 歩む
 荒々しい
 荒い[気が荒い]
 粗い[仕事が粗い]
 洗い髪
 洗い粉
 洗いざらい
 洗いざらし
 洗い張り
 洗い物
 洗う
 あらかじめ[「予め」とは書かない]
 荒稼ぎ
 荒削り, 粗削り
嵐
 あらしめる[言い換え例「あるようにする」]
 荒らす
 あらず[「非ず」とは書かない]
 争い
 争う
 粗造成[「荒造成, あら造成」とは書かない] 2

公用文 用字・用語・送り仮名(2014)

新たに	在る(東に在る, 在り方)	言い合う	怒らす
改まる	あるいは{「或は」とは書かない}	言い落とす	怒り
改めて[改めて検討する]	歩く	言い返す	怒り狂う
改める	アルコール漬け	言い方	怒る
荒波	荒れ狂う	言いぐさ	遺憾である{;言い換え例「残念です」「残念に思います」}
荒縄	荒れ性	言い出す	遺憾なく{;言い換え例「適切に処理するよう」「注意して」}
荒武者	荒れ地	言い違い	いかんともし難く{;言い換え例「適切な方法がないので」}
荒物	荒れ肌	言い付ける	生き[生き生き]
あらゆる	荒れ果てる	言い伝え	行き
表す[言葉に表す]	荒れる	言い伝える	異義[異義を持つ語]
現す[姿を現す]	淡い	言い直し	異議[異議を申し立てる]
著す[書物を著す]	合わす	言い抜け	行き当たり
表れ[喜びの表れ]	合わせ鏡	言い残す	行き当たる
現れ	あわせて(接続詞)[あわせて、…]	言い分	生き生きと
表れる[言葉に表れる]	併せて(副詞)[併せてお願いします]	言い回し	生き写し
現れる[太陽が現れる]	合わせ目	言い漏らし	生き埋め
著れる	合わせる[力を合わせる]	言い漏らす	勢い[勢い…する]
有り明け	併せる[二つの町を併せる]	言い訳	生きがい
ありありと(副詞)	慌ただしい	言渡し	行き帰り
有り合わせ	慌ただしげだ	言い渡す	生き返る
在りか{「在り処」とは書かない}	慌ただしさ	言う[彼の言う(=発言する)ことは]	行き掛かり
在り方{(存在の意)}	泡立ち	…いう[…という, …といわれている]	行き掛け
あり方{(所有の意)}	泡立つ	家柄	息切れ
有り難い	慌てる	いえども[…といえども;言い換え例「(…で)あっても」]	息苦しい
有り難がる	哀れ	家持ち	意気込み
有り難み	哀れがる	家元	行き先
ありがとう	哀れだ	硫黄[いおう]	いきさつ
有り金	哀れみ	意外[意外な結末;「以外な結末」は誤り]	生き死に
有様	哀れむ	生かす{「活かす」とは書かない}	生き字引
在りし日	暗きよ{「暗渠」と書く場合は「きよ」と振り仮名を付ける}	いかす{特性をいかす;「活かす」とは書かない}	行き過ぎ
ありふれた	案分{「按分」と書く場合は「あん」と振り仮名を付ける}	いかが	行き過ぎる
ある(連体詞)[ある日]		いかなる[いかなる場合にも…;言い換え例「どのような」]	行き倒れ
ある[その点に問題がある]	い	いかに[いかにすべきか;言い換え例「どのようにすべきか」]	生き血
…(て)ある[書いてある]	居合わせる	いかにも	行き違い
有る[財源が有る]	言い合い	いかほど	息詰まる

行き詰まる
 憤り
 憤る
粹な
 息抜き
 生き残り
 生き残る
 生き恥
 生き仏
 息巻く
 生き物
 生きる
 生き別れ
 …(て)いく{実施していく}
 行く{会社に行く}
 居食い
 戦[いくさ]
 意気地[いくじ]
 行く先
 幾つ
 幾ら{全部で幾ら、幾ら考えても}
 生け垣
 生け捕り
 いけない
 生け花
 生ける
 憩い
 憩う
 潔い{潔く}
 いささか
 勇ましい
 勇み足
 勇み肌
 勇む
 意志{意志薄弱、意志を貫く}

意思{自由意思、意思能力、意思決定}
 維持管理{「・、」を入れない}
弄る[いじくる]
 石畳
 石突き
 石造り
 移譲{対等・同権の関係のあるものに譲り渡す場合}
 委譲{上級のものから下級のものに任せる場合}
 異常{形容動詞的用法(異常な、異常に)}
 異状{名詞的用法}
 委嘱{講師を委嘱する}
 依嘱{依嘱作家;委嘱に統一の傾向あり}
 意地っ張り
弄る[いじる]
椅子
 いずれ{いずれの人が}
 忙しい
 忙しさ
 急ぎ
 急ぎ足
 急ぐ
 いそ伝い
 いそ釣り
 痛い
 板囲い
 委託{任せ頼む場合の一般的用法}
 依託{預かってもらう、物にもたせかける}
 抱く
 痛さ
 板敷き
 …いたす{御案内いたします;言い換え例「…します」「したいと思います」}
 致す{致し方ない、繁栄を致した(言い換え「(…を)した」)原因}
 …いたす{見いだす}
 いたずら{いたずらに時間を費やす}
 頂{山の頂}

頂き物
 …(て)いただく{回答していただきたい}
 …(を)頂く{御返事を頂きたい}
 至って{至って元気な}
 板挟み
 板張り
 痛ましい
 痛み{傷の痛み}
 傷み{果物の傷み}
 悼み
 痛む{腰が痛む}
 傷む{家が傷む}
 悼む{死を悼む}
 痛める
 傷める
 至り{恐怖の至り}
 至る{東京に至る}
 至る所
 一々
 一か八か
 一隅{千載一遇のチャンス}
 一言居士[いちげんこじ]
 一時{一時の出来心}
 一時逃れ
 一時払い
 著しい
 著しさ
 いちず{いちずに思い詰める}
 位置づけ{「位置付け」とは書かない}
 いち早く{「逸早く」とは書かない;「一早く」は誤り}
 一番{一番下}
 一枚刷り
 一抹{一抹の不安}
 一夜漬け
 一律{「一率」とは書かない}

一輪挿し
 いつ{「何時」とは書かない}
 いつか{いつか決行する}
 一騎打ち
 慈しみ
 慈しむ
 一向{一向に差し支えない}
 一戸建ち
 一戸建て
 一切{一切関知しない}
 一緒{一緒に行く}
 逸する
 一斉{一斉検査、一斉に出掛ける}
一蹴
 一層{一層の努力}
 一足飛び
一旦
 五つ{いつつ}
 一点張り
 一杯{一杯の水、今月一杯に}
 一遍に{一遍にする}
 一本立ち
 一本釣り
 偽り
 偽る
 井戸替え
 営み
 営む
 井戸掘り
 糸巻き
 挑む
 否
 居直る
 田舎{いなか}
 稲光

否む	嫌だ	色変わり	伺い
否めない	いよいよ	色刷り	…伺{進退伺}
…(や)否や	意欲	色づく	伺う{話を伺う、自宅に伺う}
居並ぶ	入り	色づけ	<small>(意見を)伺います{; 言い換え例「お聞かせください」「お尋ねします」}</small>
居抜き	入会権	彩り	うかがう{様子をうかがう}
犬死に	入り海	彩る	浮かす
稲刈り	入り江	色分け	浮かび上がる
居眠り	入り口{; 「入口」とは書かない}	祝い	浮かぶ
居残り	入り組む	祝い酒	浮かべる
命懸け	入り込む	祝い物	受かる
命乞い	入り日	祝う	浮かれる
命取り	入り浸る	いわく{いわくがある品物}	浮き
命拾い	入り船	言わば	浮足
祈り	煎り豆	いわゆる(連体詞)	浮き浮き
祈る	入りもや造り	いわんや	浮き貸し
息吹[いぶき]	いる{ここにいる人たち、…している}	咽喉	浮草
忌ま忌ましい	入る{氣に入る}	隠蔽	浮雲
今更	射る	う	浮き沈み
今し方	居る{家に居る}	憂い	浮名
戒め	要る{保証人が要る}	初々しい	浮袋
戒める	鏝る	上{作成する上で、修正の上、}	浮き彫り
いまだ{; 「未だ」とは書かない}	<small>(…して)いるところがあります{; 言い換え例「(…しています)」}</small>	<small>(…の)上、{; 言い換え例「…して」「…した後」}</small>	憂き目
今どき{; 「今時」とは書かない}	入替え	飢え	浮世
忌まわしい	入れ替える	植木	浮世絵
意味合い	入れ替わり	植木鉢	う曲{う曲な言い回し}
忌み言葉	入れ替わる	植え込み	浮く
忌む	入れ知恵	飢え死に	受け
芋掘り	入れ違い	植付け	請け合い
嫌がる	入れ歯	植え付ける	請け合う
嫌気	入れ物	植える	受入れ{; 名詞的用法}
卑しい	入れる{手に入れる}	飢える	受入額
いやしくも	いろいろ{; 「色々」とは書かない}	魚釣り	受入先
卑しさ	色合い	魚釣用具	受入年月日
卑しむ	色揚げ	う飼い	受け入れる{; 動詞的用法}
卑しめる	<small>遺漏なく{; 言い換え例「漏れなく」「適切に処理するように」「間違いなく」}</small>		受け売り

請負{;名詞的用法}	失う	打ち合わせる	写り
請け負う{;動詞的用法}	後ろ	討ち入り	映り
受け口	後ろ暗い	打ち返す	移り香
受け答え	後ろ姿	打ち切り{;名詞的用法}	移り変わり
受皿	後ろ盾	打切補償	移り変わる
請け書	後ろ向き	打ち切る	移り気
承る	後ろめたい	打ち消し	写る
受け継ぎ	うす{;「臼」とは書かない}	打ち消す	映る
受け継ぐ	薄明かり	打ち込む	移る
受付{;名詞的用法}	薄い	打ち据える	腕押し
受付係	うすうす{うすうすと気づいていた}	打ち出し	腕比べ
受け付け件数{;標準の送り仮名で表記}	薄曇り	打ち出す	疎い
受け付ける	薄暗い	打ち続く	疎ましい
受け止める	渦巻{;名詞的用法}	打ち解ける	疎む
受取	渦巻く{;動詞的用法}	打ち抜く	促す
受取人	薄まる	内払	海原[うなばら]
受け取る	薄める	打ちひも	うねうね{うねうね続く}
受払金	薄らぐ	打ち身	乳母[うば]
請け人	薄れる	打ち水	畝織
受け身	薄笑い	打ち破る	奪い取る
受持ち	うそ{;「嘘」とは書かない}	内訳	奪う
受け持つ	謠	打つ{心を打つ}	産着
請け戻し	歌い手	撃つ{鉄砲を撃つ}	うまい{;「上手い, 巧い, 旨い, 美味しい」は不可}
請け戻す	うたう{条文にうたってある}	討つ{賊を討つ}	馬乗り
受ける{注文を受ける}	歌う	美しい	埋まる
請ける{請け負う}	謡う	美しさ	生まれ
受渡し	疑い	写し{;記号として用いる場合は「写」}	生まれ変わる
動かす	疑う	移替え	生まれつき
動き	疑わしい	写し方	生まれる{静岡に生まれ}
動く	うち{そのうちに, 委員のうち1人は}	写す	産まれる{子犬が産まれた}
うさぎ狩り	内{内と外, 身内, 容器の内側}	映す	産み月
憂さ晴らし	打ち明け話	移す	海鳴り
牛追い	打ち明ける	訴え	生む{新記録を生む}
うしお汁	打合せ	訴える	産む{卵を産む}
牛飼い	打合せ会	うつ伏せ	埋め合わせ

埋め合わせる
埋め草
埋立て{; 名詞的用法}
埋立区域
埋立事業
埋め立て処分{; 標準の送り仮名で表記}
埋立地
埋め立てる
梅干し
埋める
埋もれ木
埋もれる
恭しい[うやうやしい]
敬い
敬う
裏打ち
裏書
裏切り
裏切り者
裏切る
裏付け
占い
占う
恨み
恨む
恨めしい
羨ましい
羨む
売り
売上げ{; 名詞的用法}
売上金
売上高
売り上げる
売惜しみ{; 名詞的用法}
売り買い

売り掛け
売掛金
売り切れ
売り切れる
売り食い
売子
売り声
売り込み
売り込む
売出し{; 名詞的用法}
売出発行
売り出す
売り立て
売手
売主
売値
売場
売払い{; 名詞的用法}
売り払う
売り物
売渡し{; 名詞的用法}
売渡価格
売渡先
売り渡す
売る
得る{··(し)得る, 得るところ}
潤い
潤う
潤す
潤わず
潤む
麗しい
麗しさ
売れ
憂い{; 不安の意(後顧の憂い)}

愁い{; 悲しみの意(愁いに沈む)}
憂え
憂え顔
愁える
憂える
売れ口
うれしい{; 「嬉しい」とは書かない}
売れ高
売れっ子
売れ残り
売れ残る
売行き
売れる
熱れる
うろ覚え
上書き
浮気[うわき]
うわさ話
上敷き
上澄み
上背
浮つく[うわつく]
上包み
上積み
上塗り
上回る
上向き
植わる
うんぬん{; 「云々」とは書かない}

え

鋭意{; 言い換え例「努めて」「懸命に」}
英気[英気を養う]
鋭気
絵入り

描き出す
描く
餌
枝伝い
恵方参り
絵巻物
笑む
偉い
選び出す
選ぶ
偉ぶる
襟飾り
えり好み
襟止め
えり抜き
襟巻
得る[許可を得る, やむを得ない]
獲る[しかを獲る]
えん曲{えん曲に断る}
縁切り
縁組
怨恨
援助・促進{; 「援助促進」と続けない}
縁続き
縁結び

お

お··(接頭語){お礼, お願い}
老い
追い打ち
追い掛ける
追い風
老い朽ちる
追越し
追い越す

追い込み	覆う	沖合漁業	贈物
老い込む	大写真	起き上がる	送る[卒業生を送る]
追い込む	大がかり[;「大掛かり」も許容]	置きごたつ	贈る[祝いの品を贈る]
生い茂る	大方[大方の意見, 大方まとまる]	置き去り	遅れ
追い銭	大きい	沖釣り	後れ毛
追い出す	大きさ	置き手紙	後れる[後れを取った, 気後れした]
生い立ち	大きな	補い	遅れる[会議に遅れた]
追い付く	大食い	補う	(…に)おける[;「(…の)ときの」「(…の)場での」]
追い詰める	大騒ぎ	起き抜け	起こす[訴訟を起こす]
おいて[…において, …における, …を置いて他にはない]	雄々しい	置場	興す[産業を興す]
(…に)おいては[; 言い換え例「(…)では」「(…の)ときは」]	大仕掛け	置き引き	巖かだ
追いはぎ	仰せ	起き伏し	怠り
追い羽根	大勢[おおぜい][;「多勢」とは書かない]	置き土産	怠る
追い払う	大助かり	置物	行い
追い抜く	大立ち回り	起きる	行う[;「行なう」とは書かない; 言い換え例「します」]
老い松	大立者[おおだてもの]	…(て)おく[通知しておく, 御承知おき願う]	行われる
追い回す	大詰め	置く[役員を置く]	起こり
負い目	大通り	奥書	起こる
老いる	大降り	臆する	興る
追分	大回り	臆説	怒る
負う	大向こう	臆測	押さえ
追う	おおむね[;「概ね」とは書かない]	奥付	抑え
生う	公	奥まる	押さえる[証拠を押さえる]
おう盛[;「旺盛」とは書かない]	おおよそ[おおよそ2か月くらい]	お悔やみ	抑える[物価の上昇を抑える]
扇	大喜び	奥行き	お下がり
凹凸[おうとつ]	大笑い	小暗い	幼い
終える	お母さん	遅らす	幼子
大当たり	おかげ[おかげで…]	送り	幼なじみ
大暴れ	尾頭付き	送り仮名	治まり
大荒れ	侵す[権利を侵す]	送り先	納まり
大慌て	犯す[過ちを犯す]	送り状	修まる
多い	冒す[危険を冒す]	送り届ける	収まる
覆い	拝み倒す	おくり名	治まる
大いに[大いに利用する]	拝む	送り主	納まる
大入り	沖合	送り迎え	納め

納め物	お忍び	落ち葉	踊る
修める[学業を修める]	押し葉	落ち穂	躍る[胸躍る]
収める[目録に収める]	押し量る	落ち武者	衰え
治める[領地を治める]	押し花	落ち目	衰える
納める[注文の品を納める]	惜しむ	落ちる	驚かす
押し	お湿り	追って(副詞){…については追って知らせる; 言い換え例「後日」}	驚き
伯父{: 父母の兄}	押し戻し	おって(接続詞){おって、日時は…}	驚く
叔父{: 父母の弟}	押し戻す	追っ手	同い年
押し合い	押し問答	追って書き	同じ
押し合う	和尚	汚泥	同じだ
押し上げる	押し寄せる	お父さん	各、各々
惜しい	推す[会長に推す]	脅かす	おのずから[おのずから理解できる]
押し入る	押す[印を押す]	おとぎ話	伯母{: 父母の姉}
押し入れ	遅い	男盛り	叔母{: 父母の妹}
押売	襲う	音沙汰	お化け
教え	遅咲き	落とし	お払い箱
押し絵	お供え	脅し	帯
教え子	恐らく	落とし穴	帯揚げ
教える	おそれ{…のおそれがある; 「虞」の意であり「恐れ」とは書かない}	落とし物	帯締め
押し掛ける	恐れ[敵に恐れをなす]	脅し文句	おびたしい
惜しがる	畏れ [畏れ敬う、神を畏(恐)れる]	落とす	帯留
お仕着せ	虞	脅す	脅かし
押し切る	恐れ入る	訪れ	脅かす
惜しげ	恐れる	訪れる	帯びる
押し込む	恐ろしい	大人[おとな]	覚え
推し進める	教わる	大人並み	覚書
押し倒す	お互いに	乙女[おとめ]	覚える
押し出し	穏やかだ	踊らす	おぼしめし
押出機	落ち合う	おとり[おとり捜査]	おぼつかない
押し出す	陥る	劣り	濡れる
押し付け	落ち口	踊り	お巡りさん
押し付けがましい	落ち込む	躍り上がる	お神酒[おみき]
押し付ける	落ち着き	踊り子	お目見え
押し詰まる	落ち着く	踊り場	思い
おしなべて	落ち度	劣る	重い

思い上がる
 思い当たる
 思い入れ
 思い浮かべる
 思い起こす
 思い返す
 思い掛けない
 思い切り
 思い切る
 思い込む
 思い出す
 思い立つ
 思い違い
 思い付き
 思い付く
 思い詰める
 思い出{;「思い出」とは書かない}
 思い残す
 思いやり
 思う
 重苦しい
 面白い
 主だ
 重たい
 表{表で遊ぶ, 表向き}
 面{矢面に立つ}
 表通り
 表向き
 主な
 主に
 重み
 趣[おもむき]
 赴く{任地に赴く}
 おもむろに
 面持ち

お守り
 思わく{;「思惑」とは書かない}
 思わしい
 思わず
 重んずる
 親子連れ
 おやじ{;「親父」とは書かない}
 親譲り
 泳ぎ
 泳ぐ
 およそ{;「凡そ」とは書かない}
 及び{A及びB; A、B、C及びD}
 及び腰
 及ぶ
 及ぼす
 折{その折, 折を見て}
 織り
 …織(工芸品)
 折り合い
 折り合う
 折り襟
 折々
 折り返し
 折返線
 折り返す
 折り重なる
 折り方
 織り方
 折りかばん
 折り紙
 折り紙付き
 折から
 折り込み
 織り込む
 折り畳み式

折り畳む
 折詰
 折り籠
 折り箱
 折節
 折り曲げる
 折り目
 織元
 織物
 下りる
 降りる
 おる{…してあります, …にあります}
 折る
 織る
 俺
 折れ合う
 お礼
 折れ曲がる
 折れ目
 折れる
 …(は)おろか{財産はおろか命までも}
 愚かしい
 愚かだ
 愚か者
 卸
 卸売
 卸商
 卸問屋
 卸値
 下ろす{枝を下ろす, 貯金を下ろす}
 卸す{小売に卸す}
 降ろす{駅で降ろす, 主役を降ろす}
 おろそか{;「疎か」とは書かない}
 終わりに{;「終り」とは書かない}
 終わる

恩返し
 女連れ
 音引き
 怨念

か

蛾
 (算用数字)か月(年,所,条){;「ヶ,ヶ,箇」は使わない}
 (漢字・数字)箇月(年,所,条){何箇月, 二、三箇所}
 かい{…したかいがあつて}
 買い
 買上げ{;名詞的用法}
 買上金
 買上品
 買い上げる
 飼い犬
 買入れ{;名詞的用法}
 買入れる
 買受け{;名詞的用法}
 買受人
 買い受ける
 買換え{;名詞的用法}
 買掛金
 外貨建債券
 海岸侵食{;「海岸浸食」とは書かない}
 買い切り
 買い食い
 買い込む
 改ざん{;「改竄」とは書かない}
 概算払
 概して{概して良好である}
 買占め{;名詞的用法}
 買い占める
 回送
 買い出し

買いだめ	帰り	掛かり合う	書き取り
買い付け	返り討ち	係員	書き取る
買手	返り咲き	係り結び	書き直す
改定(規則の改定, 料金の改定)	返り点	かかる[かかる事態に; 言い換え例「このような」]	書き抜き
改訂(書物などの内容に手を加えて正すこと)(冊子の内容の改訂, 改訂版)	帰り道	かかる[; 「罹る」とは書かない]	書き抜く
改締(契約の改締, 条約の改締)	省みる[浅慮を省みる]	(…に)係る[; 言い換え例「(…に)ついての」「…の」「(…に)関する」]	垣根越し
買取り[; 名詞的用法]	顧みる[過去を顧みる, 家庭を顧みる]	掛かる[医者に掛かる, 迷惑が掛かる]	かき回す
買い取る	代える[あいさつに代える]	架かる[電線が架かる]	かき乱す
買主	換える[言い換える, 背に腹は換えられない]	懸かる[命が懸かる, 双肩に懸かる]	書き物
飼い主	替える[年度替わり, 替え地, 代替わり]	かかわらず[…にもかかわらず; 「拘わらず」とは書かない]	可及的速やかに[; 言い換え例「できるだけ早く」]
買値	変える[心変わり, 観点を変える]	関わり	限り
飼い猫	返る	関わる [; 「拘る」とは書かない]	限る
回復(天気が回復, 機能回復)	帰る	かき…(接頭語)[かき消す]	書き分ける
快復(病気が快復, 快復不能の重体)	顔合わせ	(ただし)書	書き割り
壊滅	顔出し	夏期[; 期間がはっきり定まっている場合]	描く [かく] [絵を描く]
買戻し[; 名詞的用法]	顔だち	夏季[; 季節・シーズン]	書く
買い戻す	顔つき	鍵	欠く
買物	顔ぶれ	書き誤り	嗅ぐ
壊乱	顔負け	書き入れ	格上げ
かいわい[; 「界限」とは書かない]	顔見せ	書き入れ時	角刈り
買う	顔向け	書き入れる	格差
飼う	香り[茶の香り]	書き置き	較差[; 専門用語(日較差, 地域間較差)]
(飛び)交う	薫り	書き下ろし	隠し芸
代え	香る	書換え[; 名詞的用法]	隠し事
換え	薫る[風薫る, 文化の薫り]	書き換える	隠し立て
替え	瓦解	書き方	拡充強化[; 「・、」を入れない]
替え歌	抱える	書き下し	隠す
返し	掲げる	書き込み	覚醒
返す	欠かす	書き込む	格段の[; (なるべく使わない); 言い換え例「特別の」]
帰す	輝かしい	かぎ裂き[かぎざき]	格付
替え玉	輝かす	書き初め	各般にわたって[; 言い換え例「いろいろと」「それぞれの」]
替え地	輝き	書き出し	画引き
かえって[; 「却って」とは書かない]	輝く	書付[; 名詞的用法]	楽屋落ち
替え刃	係	書留[; 名詞的用法]	神楽[かぐら]
返り	掛[運賃諸掛]	書き留める[; 動詞的用法]	隠れる

掛け	掛ける[迷惑を掛ける, 保険を掛ける]	貸室	風通し
欠け	欠ける	貸席	風邪引き
賭け	駆ける	貸倒れ[; 名詞的用法]	数え年
陰[陰の声]	架ける	貸倒引当金	数える
影[影を陰す]	懸ける	貸出し[; 名詞的用法]	方[あの方, あっせん方; 言い換え例「…について」「…を」]
崖	陰る	貸出金	…方[先生方, あなた方, 五割方]
掛け合い	籠	貸出票	形[形見, 形ばかりのお礼]
掛け合う	囲い	貸し出す	型[うるさ型, 型にはめる]
駆け足	囲う	貸地	肩上げ
掛け売り	苛酷な	貸賃	固い[固い決心, 固い友情]
掛け襟	過誤払	過日[; 言い換え例「先日」「先頃」]	堅い[口が堅い, 手堅い, 堅気]
駆け落ち	囲み	貸付け[; 名詞的用法]	硬い[態度が硬い, 硬い文章]
掛け替え	囲む	貸付金	難い[想像に難くない, 許し難い]
掛けがね	傘立て	貸し付ける	型絵染
掛金	重なる	貸手	片思い
崖崩れ	重ね着	かじ取り	肩書
掛け声	重ねる	貸主	かたがた[おれかたがた]
駆け込む	かさむ[経費がかさむ]	貸船	片仮名
掛け算	風向き	貸本	肩代わり
掛け軸	飾り	貸間	敵討ち
掛け図	飾り棚	貸家	堅苦しい
掛け捨て	飾り付け	箇条書	片言交じり
駆け出し	飾る	貸渡業	肩凝り
駆け出す	▲瑕疵[常用外、▲振り仮名「かし」を付けて使用可]	貸す	固さ
掛け茶屋	河岸[かし]	かす漬け	硬さ
崖っ縁	貸し	嫁する	かたじけない
掛け取り	貸方	課する[責任を課する, 使命を課する]	固唾
掛け値	貸切り[; 名詞的用法]	科する[制裁を科する, 罰金を科する]	肩透かし
懸け橋	貸金	かする[肩をかする]	片隅
駆け引き	賢い	風邪[かぜ]	片付く
陰干し	賢がる	風当たり	片付ける
駆け回る	賢さ	稼ぎ	片手落ち
掛け持ち	貸越し[; 名詞的用法]	稼ぎ高	塊
掛け物	貸越金	稼ぎ人	固まる
陰り	貸し下げ	稼ぐ	傾き

傾く
 傾ける
 固め
 固める
 型破り
 偏り
 片寄る{人口が都会に片寄る, 隅に片寄る}
 偏る{進路が偏る, 偏った考え}
 語らい
 語らう
 語り合う
 語り草
 語り手
 語り物
 語る
 傍ら{歩道の傍らに, 仕事の傍ら}
 片割れ
 片割れ月
 …がち{…しがち, …ありがち}
 勝ち
 勝ち戦
 勝ち気
 勝ち星
 勝ち負け
 勝ちみ
 渦中
 勝つ
 かつ(△ 且つ){AかつB, Aをし、かつ、Bを}
 画期的
 褐色
 担ぐ
 かつ血
 括弧
 かつて{かつて読んだことがある}
 勝手{勝手が違う, 勝手次第}

勝手口
 勝手に
墓
 活発
 稼動
 門付け
 門並み
 蚊取り線香
 仮名{平仮名, 片仮名}
 かなう{「叶う」とは書かない}
 仮名書き
 金切り声
 悲しい
 悲しがる
 悲しげ
 悲しさ
 金縛り
 悲しみ
 悲しむ
 かなた{「彼方」とは書かない}
 仮名遣い
 仮名付き
 奏でる
 仮名交じり
要[かなめ]
 必ず{必ず行う}
 必ずしも{必ずしも誤りではない}
 かなり(副詞){かなり進展した}
 兼ね合い
 金入れ
 金貸し
 金遣い
 金包み
 金詰まり
 かねて{かねて懸案の}

金回り
 金持ち
 兼ねる
 かの(連体詞){かの有名な}
 彼[かの]
鹿の子
 彼女
 かば焼き
 かばん{「鞆」とは書かない}
 かぶさる{「被さる」とは書かない}
 株分け
 壁掛け
 壁塗り
 構う
 構え
 構える
 鎌倉彫
 …(ても)かまわない{外出してもかまわない}
 構わない
 我慢
 かみ合う
 髪洗い
 紙入れ
 髪飾り
 紙切れ
 かみ砕く
 紙包み
 紙挟み
 髪結い
 醸し出す
 …かもしれない{「かも知れない」とは書かない}
 醸す
 蚊帳[かや]
 通い
 通い帳

通う
 かような{言い換え例「このような」}
 通わす
 …から…まで{記号「～」に相当}
 空揚げ
 辛い
 唐織
 空出張{「カラ出張」とは書かない}
 からす{からす麦}
 枯らす
 ガラス切り
 絡まる
 空回り
 辛み
 絡み付く
 絡む[からむ]
 仮{仮に, 仮の}
 借り
 刈り
 狩り
 狩り犬
 刈り入れ
 借入れ{名詞的用法}
 借入金
 借り入れる
 借受け{名詞的用法}
 借受人
 借り受ける
 借換え{名詞的用法}
 借り貸し
 借方
 借り着
 借り切る
 借り越し
 借越金

刈り込み
 刈り込む
 仮住まい
 駆り立てる
 借り手
 刈取り; 名詞的用法
 仮に
 刈取機
 仮縫い
 借主
 狩り場
 借り物
 借りる
 仮渡金
 刈る
 狩る
 駆る
 軽い
 軽々しい
 軽々と
 軽焼き
 彼[かれ]
 枯れ枝
 枯れ木
 枯れ草
 枯れ野
 枯れ葉
 彼ら
 かれる[水がかれる]
 枯れる[木が枯れる, 資金枯れ]
 辛うじて
 軽やかだ
 軽んずる
 皮[毛皮, 木の皮, 面の皮]
 革[; 動物の皮をなめしたもの]

川遊び
 乾かす
 渴き
 皮切り
 渴く[のどが渴く, 愛情に渴く]
 乾く[空気が乾く]
 川越し
 交わす[書を交わす]
 為替
 川沿い
 川伝い
 川聞き
 川向こう
 かわや
瓦[瓦屋根]
 河原
 川原
 代わり[身代わり]
 換わり
 替わり
 変わり[心変わり]
 変わり種
 変わり者
 代わる
 換わる
 替わる
 変わる
 感
 観
 勘案し; 言い換え例「考えて」「考え合わせて」「考慮して」「工夫して」
 考え
 考え方
 考え直す
 考える
鑑みる[; 言い換え例「考慮する」]

菅きよ[「菅渠」と書く場合は「きよ」と送り仮名を付ける]
 環境・リサイクル[; 「・」を用いる]
 缶切
玩具
間隙[間隙をつく]
 頑固
 監視[行動を監視, 業務を監視]
 看視[計器を看視]
 環視[衆人環視の中, 一行を環視する]
 患者・家族[; 「・」を用いる]
 観賞[自然観賞, 風景を観賞]
 鑑賞[美術・映画・音楽を鑑賞]
 感じる
肝腎[肝腎要]
 漢数字(一つ・二つ)[; 「1つ・2つ」とは書かない]
 漢数字(二、三人)[; 「2、3人」とは書かない]
 関する[提案に関する発言]
 感ずる
 簡素・効率化[; 「・」を用いる]
 甲高い
 感づく
 缶詰
 (…の)観点に立って[; 言い換え例「立場から」「見地から」]
 芳しい
 芳しさ
 頑張る
 かん養[; 「涵養」と書く場合は「かん」と送り仮名を付ける]
 肝要[; 言い換え例「非常に重要」「最も大切」]

き

 気合
 来合わせる
 黄色い
 気受け
 気運[復興の気運]

機運[機運が熟する, 話合いの機運が]
 消える
 気後れ
 機械編み
 着替え
 気掛かり
 気兼ね
 気構え
 気軽だ
 気変わり
 疑義[; 言い換え例「疑問」]
 聞き誤る
 聞き合わせる
 聞き入れる
 聞き納め
 聞き落とし
 聞き覚え
 聞き書き
 聞き方
 聞き苦しい
 聞き込み
 聞き過ごす
 聞き捨て
 聞き違い
 聞き伝え
 聞き手
 聞き取る
 聞き耳
 効き目
 聞き物
 聞き役
 木切れ
 聞き分ける
 利く[無理が利く, 応用が利く]
 効く[暖房が効く, 効き目がある]

聞く[聞き流す, 物音を聞く, 道を聞かれ]
 聴く[事情を聴く, 要求を聴く, 意見を聞く]
危惧
 気配り
 木組み
 気組み
 期限付
 貴見の[; 言い換え例「その」「あなたの意見の」]
 聞こえ
 聞こえる
 兆し
 兆す
 刻み
 刻む
 期限厳守の上[; 言い換え例「必ず期限までに」「期日を守って」]
 岸伝い
 基準
 規準[社会生活の規準, 公示価格の規準]
 築き上げる
 築く
 傷つく
 傷つける
 きずな[; 「絆」とは書かない]
 期する[…を期して]
 規制[入場規制, デモの規制]
 規正[政治資金規正法, 電波の規正]
 規整[計器の規整, 仮名遣いの規整]
 着せる
 競う
毀損
 きた[不注意からきた, 苦労してきた]
 鍛え方
 鍛える
 来す[支障を来す]
 気立て

汚い
 汚らしい
 北向き
 来る[来る4月1日]
 きたんのない[; 言い換え例「率直な」「遠慮のない」]
 気遣う
 気疲れ
 気付く
 着付け
 着付
 気付[文部大臣官房気付]
 生っ粋[; 「生粋」とは書かない]
 喫する
 切手
 切符
 気詰まり
 規定[規定の書式, 規定する]
 規程[; 使用・利用の際の決まりごと]
 起点[新制度の起点, 起点を定める]
 基点[人生観の基点]
 貴殿[; 言い換え例「あなた」]
 気取り
 気抜け
 絹張り
 昨日[きのう]
 木登り
 気乗り
 黄ばむ
 気晴らし
 厳しい
 厳しさ
 寄附
 木彫り
 気任せ
 気まぐれ

決まり
 決まる
 気短だ
 決め
 決め手
 決める
 気持ち
 肝に銘じる
 客扱い
 客止め
 客引き
 逆戻り
 気休め
嗅覚
 休暇願
臼歯
 急だ
 給付
毀堂
 清い
 今日
 狭あいな[; 言い換え例「狭い」]
 恐喝
 胸襟
 (…に)供する[; 言い換え例「役立てる」「して」「できるようにする」]
 矯正
 京染め
 共存、共栄[; 「、」を用いる]
 供用[; 言い換え例「供用が開始されます」→「利用できます」]
 橋りよう
 曲乗り
 清まる
 清める
 清らかだ
 嫌い[嫌いがある]

嫌う
 切らす
 切り
 切上げ[; 名詞的用法]
 切り上げる
 切り売り
 切替え[; 名詞的用法]
 切替日
 切り替える
 切り株
 切り紙
 切り髪
 切り刻む
 切り傷
 切りくず
 切り口
 切り子
 切り口上
 切り込む
 切下げ[; 名詞的用法]
 切り下げる
 切捨て[; 名詞的用法]
 切り捨てる
 切り炭
 切り出す
 義理立て
 切り妻造り
 切り詰める
 切土
 切り通し
 切り取り[; 名詞的用法]
 切り取る
 切り抜き
 切り抜く
 切り抜ける

切り花	禁錮	草刈り	口切り
切離し{;名詞的用法}	きんしょう{;「僅少」とは書かない}	臭さ	口答え
切り張り	<	草取り	口出し
霧吹き		草深い	口頼み
切り札	具合	臭み	口付き
切り干し	悔い	腐らす	口伝え
切り回す	食い合う	腐り	口止め
切り身	食い上げ	腐る	口直し
切り盛り	食い荒らす	腐れ縁	朽ち葉
切る	悔い改める	(ふて)腐れる	朽ち果てる
斬る{世相を斬る}	食い合わせ	草分け	口ぶり
着る	食い意地	串刺し	口減らし
切れ	食い入る	くじ引	口汚し
切れ味	食い込み	くじ引券	朽ちる
切れ切れだ	食い込む	崩し書き	覆す
切れ込み	食い過ぎ	崩す	覆る
亀裂	食い倒す	崩れる	靴下留
切れ続き	食い倒れ	砕く	靴擦れ
切れ端	食い違い	砕ける	靴直し
切れ目	食い違う	下さい{資料を下さい, お手紙下さい}	靴磨き
切れる	食い付く	…(て)ください{御出席ください, お急ぎください}	配る
際	食い道楽	下さる{返事を下さる}	首飾り
際立つ	食い逃げ	下し	具備する{;言い換え例「備えている」「備える」}
極まり	食い延ばす	下し薬	組{赤の組}
窮まり	食い物	下す{判決を下す}	組み{活字の組み}
極まる{不都合極まる言動}	悔いる	果物	組合
窮まる{進退窮まる}	食う	下り	組合せ{;名詞的用法}
極み	遇する	下り坂	組み合わせる
窮み	くぎ付け	下り列車	組入れ{;名詞的用法}
窮め	くぎ抜き	下る	組み入れる
極め付き	区切り	口開け	組み討ち
極めて{極めて大きい}	句切り	口当たり	組替え{;名詞的用法}
極める{見極める}	区切る	口入れ	組み替える
窮める	句切る	朽ち木	組み方
究める{学を究める}	臭い	口利き	酌み交わす

組曲
 組み込む
 組み写真
 組立て{; 名詞的用法}
 組立工
 組み立てる
 組長
 くみ取便所
 くみ取る{; 「汲み取る」とは書かない}
 酌み取る{人の心を酌み取る}
 組み版
 組み物
 組む
 くむ{; 「汲む」とは書かない}
 酌む{酒を酌む, 意を汲む}
 雲隠れ
 雲行き
 曇らす
 曇り
 曇り空
 曇る
 悔しい
 悔しがる
 悔し泣き
 悔やみ
 悔やみ状
 悔やむ
 倉
 蔵
 …くらい(ぐらい){どのくらい, これくらい}
 位{王の位, 位取り, 位する}
 暗い
 位する
 位取り
 蔵入れ

食らう
 暗がり
 暮らし
 倉敷料
 暮らし向き
 暮らす
 蔵出し
 蔵払い
 蔵開き
 比べる{; 「較べる」とは書かない}
 暗やみ
 倉渡し
 繰上げ{; 名詞的用法}
 繰上償還
 繰り上げる
 繰り合わせ{; 名詞的用法}
 繰り合わせる
 繰入れ{; 名詞的用法}
 繰入金
 繰入限度額
 繰入率
 繰り入れる
 繰替え{; 名詞的用法}
 繰替金
 繰り返し
 繰り返す
 繰越し
 繰越金
 繰り言
 繰り込む
 繰下げ{; 名詞的用法}
 繰り下げる
 繰り出す
 繰延べ{; 名詞的用法}
 繰延資産

繰り延べる
 繰戻し{; 名詞的用法}
 …(て)くる{寒くなってくる, 行ってくる}
 来る{人が来る}
 繰る
 狂い
 狂い咲き
 狂う
 狂おしい
 苦しい
 苦しがる
 苦しさ
 苦し紛れ
 苦しみ
 苦しむ
 苦しめる
 車止め
 車寄せ
 狂わしい
 狂わす
 暮れ
 暮れ方
 くれぐれも
 くれる{資料をくれる}
 …(て)くれる{援助してくれる}
 暮れる
 黒い
愚弄
 玄人
 黒焦げ
 黒さ
 黒ずむ
 黒塗り
 黒光り
 黒み

黒焼き
 加える
 詳しい
 詳しさ
 食わず
 食わず嫌い
 食わせ物(者)
 企て
 企てる
 加わる

け

…げ(接尾語){惜しげもなく}
 経緯{; 言い換え例「経過」「いきさつ」「事情」}
形骸化
 蛍光灯
 係属{係属中の案件}
軽蔑
 啓もう{; 「啓蒙」とは書かない}
 溪流
 毛織物
 汚す
 汚らわしい
 汚れ
 汚れる
 今朝[けさ]
 消印
 景色[けしき]
 消しゴム
 消し炭
 消し止める
 けじめ{けじめをつける}
 消す
 削りくず
 削る

柁(三柁)

けだし[; 言い換え例「思うに」「あるいは」]

決壊

結構(結構な物, 買わなくても結構です)

けっこう[けっこう役に立つ]

柁(違)

けち[; 「ケチ」とは書かない]

蹴散らす

決して

欠如している[; 言い換え例「足りない」「欠いている」]

欠席届

決着[; 「結着」とは書かない]

月賦払

毛並み

毛抜き

懸念[; 言い換え例「心配」「おそれ」「気掛かり」]

煙い

煙

煙る

蹴る

険しい

舷

嫌悪

見解[; 言い換え例「考え」「意見」]

減価償却[; 「原価償却」は誤り]

現金払

検査済証

検定済み

研さん[; 「研鑽」とは書かない]

拳銃

謙遜

原動機付自転車

見当違い

現に

厳に

権利義務[; 「・、」は入れない]

こ

御…[**御挨拶**、御案内, 御指導, 御教授]

ご…[ごべんたつ]

小商い

御案内のとおり[; 言い換え例「お知らせしたとおり」]

恋

濃い

請い

恋い焦がれる

恋しい

恋しがる

恋い慕う

恋する

恋人

恋文

恋う

乞う[乞う御期待]

請う[許可を請(乞)う]

好意[好意的に行う, 好意を寄せる]

厚意[御厚意に感謝, 先生の御厚意]

神々しい

公算[公算が大きい(小さい)]

行使する[; 言い換え例「用います」「使います」]

こうして

洪水

講ずる[; 言い換え例「実施します」「行います」「します」]

校正刷り

碁打ち

勾配

広範

交付[証明書の交付]

公布[法律の公布]

公平公正[; 「・、」は入れない]

広報[広報活動]

公報[公報で告示する]

公報公聴[; 「・、」は入れない]

公僕

傲慢

被る

小売

小売商

勾留

肥

声変わり

肥える

越える[障害を越えて, 難関を越えて]

超える[立場を超えて, 予想を超えて]

氷

凍り付く

氷詰め

凍る

子飼い

木隠れ

焦がす

木枯らし

焦がれる

小刻み

こぎ着ける

小切手

御教示[; 言い換え例「お教え」「御指導」]

ごく[ごく新しい]

御苦労さま[; 「御苦労様」とは書かない]

焦げ茶色

こけら落とし

焦げる

ここ[; 「此処」とは書かない]

個々

心地[こち]

凍え死に

凍え死ぬ

凍える

九つ

心当たり

心当て

心得違い

心得る

心覚え

心置き無く

心掛け

心構え

心変わり

心組み

志

志す

心頼み

心付く

心尽くし

心付け

心積もり

心細い

心任せ

心持ち

試み

試みに

試みる

心持ち

快い

濃さ

御査収ください[; 言い換え例「(お確かめの上、)お受け取りください」]

御参集[; 言い換え例「お集まり」]

こし入れ

腰折れ

腰掛け

腰だめ
 腰抜け
 こしらえる
 越す
 超す
 こぞって(こぞって賛成する)
 御存じ(「御存知、ご存じ」とは書かない)
 答え
応える(要望に応える(=応じる))
 答える(質問に答える)
 木立
 こだわる
 ごちそう(「御馳走」とは書かない)
 小作り
 小包
滑稽
 事(本当の事、去年の事、考え事)
 こと(…すること、許可しないことがある)
 事柄
 ごとく(「如く」とは書かない; 言い換え例「ように」「とおり」)
 ことごとく
 殊更、ことさら(殊更…する、ことさら…する)
 今年
 言付かる
 言付ける
 言づて
 異なる
 殊に(殊に優れた)
 …ごとに(「毎[ごと]」とは書かない)
 異にする
 殊の外(殊の外、喜ばしい)
 言葉
 事始め
 子供(例外「こども」「子ども」; 福祉分野を中心に例外が主流)
 断り(断りの手紙)

断り状
 断る
 この期に…(この期に及んで)
 この際
 この度
 好ましい
 好み
 好む
 好む
 好ましい
 拒む
 御飯蒸し
御無沙汰
 昆布巻き
 小降り
 小振り
 御弊担ぎ
 細かい
 細かだ
 困り者
 困る
混み合う
 込み上げる
 ごみ取り
混む
 込む(仕事を立て込む、負けが込む)
 込める
 五目並べ
 子持ち
 こも包み
 子守
籠もる
 肥やし
 肥やす
 御用納め
 御用聞き

御用始め
 懲らしめる
 凝らす(工夫を凝らす)
 懲らす
 御覧(御覧のとおり)
 …(て)ごらん(見てごらん)
 凝り
 凝り固まる
 凝り性
 懲りる
 凝る
 これ(「之、是」とは書かない)
頃(頃合い、日頃、○時頃)
 転がす
 転がる
 転げる
 殺し
 殺す
 転ぶ
 怖い
 怖がる
 壊す
 壊れる
 根比べ
 献立
 昆虫
 根底
 今日(今日は)
 今般(言い換え例「このたび」)
 根負け

さ

歳(二十歳、歳末、歳月)
 才(年齢を表す場合に限り許容)
才媛

最後(最後の手段、最後の列)
 最期(最期の言葉、最期をみとる)
 最小限(「最少限」とは書かない)
 再編統合(「・、」は入れない)
 幸い
 幸いだ
 幸いに
 遮る
 早乙女(さおとめ)
 逆恨み
 栄え
 栄える
 逆落とし
 逆さ
 捜し当てる
 捜し出す
 捜し物
 捜す(落とし物を捜す)
 探す(手ごろな財布を探す)
 逆立ち
 逆立てる
遡る
 逆巻く
 酒盛り
 逆らう
 盛り
 下がり
 盛り場
 盛る
 下がる
 盛んだ
 盛んに
 さき(さきにお知らせした; 「曩(=以前)」の意で用いる場合)
 先(先にたつ、先んずる、数年先、先頃; 「後先」の意で用いる場合)
 咲き

先駆け	裂ける	差し出し口	定まる
先借り	避ける	差出人	定め
先立つ	下げる[軒に下げる]	差し出す	定めし
先取り	提げる[手に提げる]	差し支え	定めて
先取特権	下げ渡し	差し支える	定める
先走り	下げ渡す	差し遣わす	札入れ
先走る	座高	差し出口	座付き
先払い	ささいな[;「些細な」とは書かない]	差し止め[;名詞的用法]	五月晴れ
先触れ	支え	差し止める	雑記
先ほど[先ほど申し上げたとおり]	支える	差し伸べる	早急[さっきゅう]{早急に手配する}
先回り	ささげる[;「奉(捧)げる」とは書かない]	差し挟む	早速[さっそく]{早速送付する}
咲き乱れる	ささやか	差し控える	さて[さてどうしよう]
先行き	刺さる	差し引き[;名詞的用法]	砂糖入り
先渡し	差し上げる	差し勘定	砂糖漬
先んずる	差し当たり	差し簿	里帰り
柵	刺し網	差し引く	諭し
咲く	差し入れ	刺身	諭す
裂く[仲を裂く, 布を裂く, 引き裂く]	差し入れる	差し向かい	悟り
割く[時間を割く, 人手を割く]	挿絵	差し向き	悟る
作成[文書作成, 法案作成]	差し置く	差し戻し[;名詞的用法]	早苗
作製(物品を作ること){木箱の作製, 表示板の作製}	差押え[;名詞的用法]	差し戻す	裁き
作付け	差押命令	差し渡し	さばく[;「捌く」とは書かない]
作付面積	差し押さえる	刺す[身を刺す寒さ]	裁く
桜狩り	差し掛かる	差す[かさを差す, 光が差す, 水を差す]	寂しい[さびしい]{寂しい晩年, 一人寂しく}
探り	差し金	指す[指し示す, 将棋を指す]	寂しがる
探り足	挿し木	挿す[エピソードを挿しはさむ]	寂しげだ
探る	棧敷[さじき]	さすがに[;「流石に」とは書かない]	さび止め
下げ	座敷	授かる	寂れる
酒好き	差し込み	授ける	さほど[さほど重要ではない]
蔑む	差し込む	誘い	様々に
酒飲み	刺し殺す	誘い水	冷ます
叫び	差し障り	誘う	覚ます
叫び声	指図	沙汰	妨げ
叫ぶ	さしずめ[;「差し詰め」とは書かない]	定かだ	妨げる
裂け目	差し迫る	定まり	様に{様にならない}

さみしいさみしい通り, さみしそうな顔
 五月雨
 寒い
 寒がる
 冷める
 覚める
 皿洗い
 再来…{再来週・月・年}
 さらに(接続詞){さらに、…}
 更に(副詞){更に検討する}
 去る{去る〇日}
 …されたい{; 言い換え例「…してください」}
 騒がしい
 騒がす
 騒ぎ
 騒ぐ
爽やか
 触る{壁に触る, 手触り}
 障る{気に障る, 差し障る}
 傘下
 参酌{事情を参酌して}
 三色刷り
 栈橋
 散布
 山ろく{; 「山麓」とは書かない}

し

試合
 仕合{泥仕合}
 仕上がり
 仕上げ
 仕上機械
 仕上工
 幸せ{; 「仕合せ」とは書かない}
 幸せだ

虐げる
 強いて
 強いる
 仕入れ
 仕入価格
 仕入先
 仕打ち
 塩辛い
 仕送り
 潮煙
 仕納め
 塩断ち
 塩漬け
 潮干狩り
 塩引き
 塩蒸し
 塩焼き
歯牙
死骸
 仕返し
 仕掛花火
 仕掛品
 しかし
 しかしながら
 仕方{仕方がない}
 地固め
叱る
 しかるに{; 言い換え例「ところが」「けれども」「しかしながら」}
 時間割
 時期(幅のある期間){時期尚早, 開花の時期}
 時機{時機到来, 時機を見る}
 時季(シーズンの意){時季変更権}
 敷居
 敷石
 敷金

敷地
 敷布
 敷物
 仕切り
 しきりに(副詞)
 敷く
 軸受
 字配り
 仕組み
 時雨[しぐれ]
 刺激
 茂み
 茂る
 試験研究{; 「・」は入れない}
 事件事故{; 「・」は入れない}
 指向{指向性マイク, 一点を指向する}
 志向{改革志向, 欧米志向}
 至極{至極もつともである}
 仕込み
 子細{子細があつて}
 始終{一部始終, 始終…する}
 支出済額
 止水栓
 静かだ
 静けさ
 静々と
 静まる{心が静まる}
 鎮まる{騒ぎが鎮まる, 痛みが鎮まる}
 沈む
 沈める
 静める
 鎮める
 資する{効率向上に資するところが大きい; 言い換え例「役立てる」}
 辞する{職を辞する}
 仕損じ

肢体
 次第{帰り次第, …する次第である; 言い換え例「…します」}
 慕う
 下請{; 名詞的用法}
 下請工事
 舌打ち
 従う
 従える
 下書き
 したがって(接続詞){したがって、…}
 …したく{; 言い換え例「…したいので」}
 仕出し
 親しい
 下敷き
 親しく
 親しさ
 親しみ
 親しむ
 仕出屋
 下調べ
 したためる
 舌足らず
 滴り
 滴る
 下積み
 仕立て
 仕立て上がり
 仕立券
 下手投げ
 仕立物
 仕立屋
 …したところである{; 言い換え例「…しました」}
 下縫い
 下塗り
 下働き

下回る
 下向き
 下読み
 慕わしい
 質入れ
 質入証券
 しち面倒{;「七面倒」とは書かない}
自嘲
 実情{実情を訴える}
 実状{被害の実状}
失踪
 実態{経営の実態}
 実体{生命の実体, 実体のないもの}
嫉妬
 実に
尻尾
 字詰め
 支店詰
 指導助言{;「・、」は入れない}
 児童生徒{;「・」は入れない}
 指導・補導{;「・」を入れる}
 自得
 しとやか{しとやかな女性}
 竹刀
 品切れ
 品定め
 しなびる{野菜がしなびる}
 地ならし
 地鳴り
 死に顔
 死に金
 死に際
 死に絶える
 死に時
 死に場

死に恥
 死に花
 死に水
 死に目
 死に物狂い
 し尿
 死に別れ
 自任{日本一を自任する}
 自認{失言を自認する}
 死ぬ
 しのぐ{;「凌ぐ」とは書かない}
 忍ばせる
 しのばれる{故人がしのばれる}
 忍び
 忍び足
 忍び歩き
 忍び込む
 忍び泣き
 忍びやかだ
 しのぶ{生前をしのぶ, 故郷をしのぶ}
 忍ぶ
 しばし{しばしの別れ}
 しばしば
 芝生
 支払
 支払人
 支払元受高
 支払う
 しばらく{;「暫く」とは書かない}
 縛る
 字引
 地引き綱
 地響き
 渋い
 渋さ

渋抜き
 渋塗り
 渋み
 渋る
 絞り
 絞り上げる
 絞り染め
 絞る{タオルを絞る, 知恵を絞る, 音を絞る}
 搾る{搾り取る}
 仕舞
 …(て)しまう{書いてしまう}
 始末する{書類を始末する}
 締まり
 閉まる{戸が閉まる}
 絞まる{羽交い絞め}
 締まる{ねじを締める}
 地回り
 染み
 染み抜き
 染みる{色が染みる}
 しみる{目にしみる}
 仕向地
 仕向ける
 事務事業{;「・、」は入れない}
 事務取扱
 事務引継
 しめ飾り
 締切り{; 名詞的用法}
 締切日
 締め切る
 締めくり
 示し
 示し合わせる
 湿す
 示す

締め出す
 湿らす
 湿り
 湿る
 占める
 閉める
 絞める
 締める{心を引き締める, 締めくくる}
 霜枯れ
 下肥
 霜降り
 霜焼け
 諮問
 じゃっ起{;「惹起」とは書かない}
 酌量
 遮断
 三味線
 砂利
 車両
 事由{; 言い換え例「理由」}
中[じゅう]{日本中, 一年中}
 臭気止め
 従前{言い換え例「これまで」「従来」}
 充実強化{;「・、」は入れない}
 重体{重体患者}
 衆知{衆知を集める}
 周知{周知の事実, 周知のとおり}
 周知徹底されたい{; 言い換え例「皆さんにお知らせ願います」}
 充填する{; 言い換え例「埋めます」「詰めます」}
 習得{英会話の習得}
 修得{単位の修得}
 十人並み
 十分{十分配慮する, 不十分だ}
 収れん{;「収斂」とは書かない}
 肅正{綱紀肅正}

肅清{反対派の肅清, 血の肅清}
 熟知の上{; 言い換え例「よく読んで」}
 受験{私立高校の受験}
 受検{公立高校の受検}
 主催{大会の主催者}
 主宰{劇団を主宰する}
 趣旨{会の趣旨, 開催の趣旨}
 主旨{立案の主旨, 判決理由の主旨}
 授章{勲章・褒章を受章する}
 授章式
 受賞{芥川賞を受賞する}
 授賞式
 数珠
 主たる{; 言い換え例「主な」「主要な」}
 出えん
 朱塗り
 需要{消費者の需要, 財政需要}
 需用{需用費, 需用電力}
旬{旬の野菜}
 春慶塗
 しゅん工, しゅん功{; 言い換え例「完成」}
 遵守{法令遵守, 遵守徹底; 言い換え例「守る」}
 しゅんせつ
 紹介
 照会
 生涯
 しょうがない{; 「しょうがない」とは書かない}
 状況{状況判断, 進行状況}
 情況{情況証拠, 身体の情況}
 条件付
 条件付採用
 性懲りもなく
 状差し
 招集{県議会を招集する, 委員の招集}
 召集{国会を召集する, 召集令状}

精進揚げ
 上手{じょうず}
 丈夫{丈夫な体}
 招聘
 使用済み
 使用済燃料
 称する
 正札付き
 食料{食料品}
 食糧{食糧費, 食糧の自給率}
 徐々に
所詮
 所存であります{; 言い換え例「考えております」「考えです」}
 暑中伺い
 所定の{; 言い換え例「定められた」「決められた」}
 所得割
 諸般の{; 言い換え例「いろいろな」「様々な」}
 処方せん
 所要{所用の(; 言い換え例「必要な」)手続, 所要経費, 所要時間}
 所用{所用のため欠席}
 白髪
 白ける
 知らせ
 調べ
 調べる
 白む
 白焼き
 知り合い
 知り合う
尻上がり
尻押し
尻切れ
 退く
 退ける{; 「斥ける」とは書かない}
 思料する{; 言い換え例「考えます」「思います」「認めます」}

知る
 印
 記す
 知るべ
 しれない{…かもしれない}
 知れる
 白い
 素人{しろうと}
 白光り
 仕方
 心機一転
 進行係
 しんしゃく{; 「斟酌」とは書かない}
 侵食{領土を侵食する}
 浸食{海岸が浸食される}
 心身{; 「身心」とは書かない}
 心神{心神耗弱, 心神喪失者}
親戚
 甚大{被害甚大}
 進退伺
 陣立て
進捗
 進展{話合いが進展する}
 伸展{業績の伸展, 経済力の伸展}
 寝殿造り
親睦
 尋問
 進路{台風の進路, 日本の進路}
 針路{北西に針路をとる}
 信用貸し

す

酸い
 吸い上げ
 吸い上げる

吸い殻
 吸い口
 吸い込む
 推薦
 水槽
 吸い出す
 吸い取る
 随分{随分早い}
 吸い物
 吸う
 数次{に; 言い換え例「数回に」「何度も」「度々」}
 すう勢
 数名
 据置き{; 名詞的用法}
 据置期間
 据置貯金
 据え置く
 末頼もしい
 図会{ずえ}
 据付け{; 名詞的用法}
 据え付ける
 末っ子
 据える
 透かし
 透かし彫り
 透かす
隙
 好き
 透き写し
 好き嫌い
 透き通る
 …(に)すぎない
 杉並木
隙間
 透き見

数奇屋[すきや]
 すき焼き
 過ぎる
 好く
 透く
 すぐ[;「直ぐ」とは書かない]
 救い
 救い主
 救う
 巣くう
 少ない
 少なからず
 少なくとも
 すぐに[;「直ぐに」とは書かない]
 優れる[;「勝れる」とは書かない]
 助太刀
 透ける
 少し
 少しも
 過ごす
 すこぶる
 健やかだ
 筋合い
 筋書
 筋違い
 筋向こう
 素性[;「素姓」とは書かない]
 涼しい
 涼しさ
 すす掃き
 すす払い
 進み
 涼み
 涼み台
 進む

涼む
 勧め
 進め
 勧める[入会を勧める]
 進める[交渉を進める]
 薦める[候補者として薦める]
 すすり泣き
 巣立ち
 巣立つ
 廃る
 廃れる
 ずつ[一つずつ, 少しずつ]
 酢漬け
 酸っぱい
 捨て石
 捨て売り
 捨て金
 すてき[;「素敵」は許容]
 捨て子
 捨てぜりふ
 既に[既に完成している]
 捨て値
 捨て場
 捨て鉢
 捨て身
 捨てる
 素通し
 素通り
 砂遊び
砂嵐
 砂書き
 砂煙
 すなわち[;「即ち」とは書かない]
 素早い
 …すべく[; 言い換え例「…するために」]

全て
 滑り
 滑る
 統べる
 住まい
 住まう
 澄まし顔
 澄ます
 済ます
 済み[済みませんでした]
 住み込み
 住み込む
 墨染め
 炭取り
 速やかだ
 速やかに[; 言い換え例「すぐに」「早急に」「早く」「直ちに」]
 炭焼き
 住む
 澄む
 済む
 相撲
 素焼き
 刷り
 刷り上がり
 刷り上がる
 擦り傷
 すり減らす
 刷り物
 刷る
 擦る
 …することとしたので[; 言い換え例「…しますので」]
 …することを妨げない[; 言い換え例「…することができます」]
 鋭い
 鋭さ
 擦れる

据わり
 座込み[; 名詞的用法]
 座る
 据わる[目が据わる]
 寸法書き

せ

精いっぱい[;「精一杯」とは書かない]
 逝去
 制御
 背比べ
 製作[器具・部品の製作]
 制作[絵画・彫刻等芸術作品の制作]
 清算[借金を清算する, 愛人関係の清算]
 精算[運賃を精算する, 費用を精算する]
凄惨
 成長[子犬が成長する, 経済成長]
 生長[樹木・稲・麦が生長する]
整頓
 背負い投げ
 背負う
 席貸し
 せき止め
 関取
 関守
 せっかく[; せっかくのお言葉ですが]
 絶体絶命[;「絶対絶命」とは書かない]
刹那
 切ない
 切に[切に祈る]
 瀬戸引き
 背中合わせ
 銭入れ
 背伸び
 狭まる

狭める
是非{是非お願ひしたい, 是非を論ず}
瀬踏み
狭い
狭苦しい
迫る
責め
攻め落とす
せめぎ合い
責め道具
攻める
責める
…せられたい{; 言い換え例「…してください」}
競り合い
競り合う
競り市
競り売り
競る
世話焼き
栓{消火栓}
せんえつ{; 「僭越」とは書かない}
全壊
千切り
選考{委員の選考}
善後策{; 「前後策」とは書かない}
全戸配付
詮索
善処する{; 言い換え例「適切に処理します」「努力します」}
洗濯
煎茶
扇動{扇動する}
栓抜
先般{; 言い換え例「先日」「先**頃**」「さきに」}
せんべつ{; 「餞別」とは書かない}
羨望

千枚通し
戦慄
そ
添い寝
沿う{方針に沿って, 期待に沿うよう}
添う{連れ添う, 寄り添う}
爽快
総掛かり
象牙彫り
倉庫荒らし
総じて
早々に{早々に御連絡ください}
曾祖父
瘦身
装丁
相当{相当難しい, 部長に相当}
挿入
候文
草履
添え書き
添え乳
添え手紙
添え物
添える
溯及
俗受け
即応した{; 言い換え例「ふさわしい」「合った」「かなった」}
…(に)即し{現状に即して}
即時払い
底積み
そこで{接続詞}
損なう
底抜け
損ねる

底冷え
底光り
組織・定数{; 「・」を入れる}
そして{接続詞}
注ぐ
唆す
育ち
育つ
育ての親
育てる
措置{; 言い換え例「処置」「取扱い」}
率先{; 「卒先」とは書かない}
袖
外囲い
外構え
外回り
備え
備置き{; 名詞的用法}
備付け{; 名詞的用法}
備付品
備え付ける
供え物
供える
備える
備わる
その{そのほか, その本をとってください}
その他{; 並列・対等の関係}
その他の{; 後者に包含の関係}
その旨{; 言い換え例「そのこと」「その内容」}
そば{; 「側, 傍」とは書かない}
素朴
粗末な
染まる
背く
背ける

染め
…染{工芸品}
染め上がり
染め上がる
染め色
染め替え
染め返し
染め返す
染め替える
染め粉
染め付け
染め直す
染め抜く
染物
染める
そもそも
空合い
反らす
空頼み
空泣き
空喜び
反り
反る
それ{それぞれ, それゆえ, それら}
そろろ{; 「揃う」とは書かない}
添わる
存ずる{それがよいと存じます, 御存じの…}
た
他{その他, 他国, 自他}
…たい{助動詞}{願いたい}
体当たり
大概
代替わり
代金引換

大した[大したことはない]
 大して[大して参考にならない]
 大丈夫だ
 体制[独裁体制, 反体制派]
 態勢[警備態勢, 実施態勢, 受入れ態勢]
堆積
 大切に
 大層[大層明るい]
 大体[大体良い, 大体のところは]
 大抵[大抵のことは, 大抵雨になる]
 台頭[たいとう]
 大分[大分増えた]
 大変[大変な人出, 大変努力し]
 平らかだ
 平らげる
 平らだ
 田植
 堪え忍ぶ
 絶えず[副詞]{絶えず行き来する}
 絶え間
 堪える[任に堪える, 遺憾に堪えない]
 絶える[息が絶える]
 耐える[重圧に耐える, 耐え忍ぶ]
 倒す
 倒れる
 高い
 互い
 互い違い
 互いに[互いに励まし合う]
 たか狩り
 高飛び
 高ぶる
 高まり
 高まる
 高める

耕す
 高らかだ
 高笑い
 抱き合う
 抱き合わせ
 抱き込み
 抱き込む
 炊き出し
 たき付け
 炊く
 抱く
 宅扱い
類い[類いまれな人物]
 たくさん[「沢山」とは書かない]
 巧みだ
 たくらむ[「企む」とは書かない]
 手操る
 蓄え
 蓄える
 丈[身の丈, 思いの丈を述べる]
 …だけ[調査しただけである]
 足し
 山車[だし]
 出し入れ
 確かさ
 確かだ
 確かに
 確かめる
 出し汁
 出し物
 多少[多少早くなる]
 足す
 出す
 助かる
 助け

助け船
 助ける
 携える
 携わる
 尋ね人
 尋ねる[道を尋ねる, 由来を尋ねる]
 訪ねる[知人を訪ねる, 史跡を訪ねる]
 蛇足
 ただ[「只, 唯」とは書かない]
 多大なる[言い換え例「多くの」「たくさんの」]
 ただいま[ただいま御紹介いただきました]
 たたえる[「称える」とは書かない]
 戦い
 闘い
 戦う[名誉を懸けて戦う, 野球で戦う]
 闘う[病魔と闘う, 勝利を闘い取る]
 ただし[接続詞]{ただし、…}
 正しい
 ただし書
 正しさ
 正す
 直ちに
 畳
 畳表
 畳替え
 畳む
 漂う
 漂わす
 …たち[接尾語]{私たち, 子供たち, (例外: 友達)}
 太刀
 立会い[; 名詞的用法]
 立会演説
 立会人
 立ち会う
 立ち上がり

立ち上がる
 立ち居
 裁ち板
 立ち居振る舞い
 立入り[; 名詞的用法]
 立入禁止
 立入検査
 立ち入る
 太刀打ち
 立ち売り
 立ち往生
 立ち後れ
 立ち泳ぎ
 立ち枯れ
 立ち木
 立ち消え
 立ち聞き
 断ち切る
 立ち食い
 立ち腐れ
 立ち去る
 立ち続け
 立ち所に
 立ち止まる
 立ち直り
 立ち直る
 立ち並ぶ
 裁ち縫い
 立ち退き先
 立ち退く[たちのく]
 立場
 立ち働く
 立ち話
 立ち番
 たちまち

立ち回り	立て続け	楽しむ	ため池
立ち回り先	建坪	頼み	駄目押し
立ち回る	建て直し	頼む	ためし{勝ったためしがない}
立ち見	立て直し	頼もしい	試し
立見席	立て直す	たばこ{;植物名の場合はカタカナ「(葉)タバコ」}	試す
裁ち物	建値	手挟む	矯め直す
立ち役	立て場	束ねる	矯める
立ち寄る	立て引き	度{度々, 度重なる}	ためる{水をためる, お金をためる}
たつ{;「経つ」とは書かない}	立て膝	…たび{このたび、…するたび}	保つ
断つ{退路を断つ}	立札	足袋[たび]	絶やす
絶つ{縁を絶つ, 連絡を絶つ}	建前	度重なる	便り
裁つ	建て増し	旅立ち	頼り
立つ{顔を立てる, 騒ぎ立てる}	奉る	旅立つ	頼る
建つ{銅像が建つ, 円建て}	建物	度々	たらい回し
田作り	立て役者	旅疲れ	垂らす
立つ瀬	建てる	多分{多分…であろう}	足りる
尊い{尊い犠牲}	立てる	食べかけ	足る
貴い{貴い資料, 貴い体験}	たとい{たとい…とも(ても)}	食べ盛り	誰
尊ぶ	たとえ{たとえ…とも(ても)}	食べ過ぎ	垂れる
貴ぶ	例え	食べ残し	戯れ
竜巻	例えば	食べ物	戯れる
たて{ペンキ塗りたて}	例え話	食べる	断崖
立て{義理立て}	例える	玉{玉にきず}	断じて
盾	たどる{記憶をたどる}	球{電気の球}	段違い
立て板	棚上げ	弾{ピストルの弾}	端的に
立替え{;名詞的用法}	たな卸し・棚卸し	卵焼き	段取り
立替金	棚卸資産	玉突き	暖房
立替払	種明かし	玉乗り	旦那
立て替える	種切れ	霊祭り	鍛錬{;「鍛練」とは書かない}
縦書き	種取り	黙り込む	
立て掛ける	楽しい	黙る	ち
立て看板	楽しがる	たまもの{;「賜物」とは書かない}	小さい
建具	楽しげだ	賜る{;言い換え例「頂く」}	小さな
立て込む	楽しさ	手向け	知恵比べ
立て付け	楽しみ	ため{;「為」とは書かない}	誓い

近い
 違い
 誓い言
 違い棚
 誓う
 違う
 違える
 近く
 地殻
近頃
 近しい
 近々
 近づき
 近づく
 近づける
 近回り
 近寄る
 力落とし
 力比べ
 力添え
 力付ける
 力任せ
 力負け
 力持ち
 契り
 契る
 逐一[逐一報告する]
 逐次[; 言い換え例「次々に」「順次」「だんだんに」]
 逐年[; 言い換え例「年々」]
 血煙
 稚児[ちご]
 知識経験[; 「・、」を入れない]
 知しつ[; 「知悉」とは書かない]
 千々に
 縮まる

縮む
 縮める
 縮らす
 縮れ毛
 縮れる
 血続き
 血止め
 ちなみに
 ちなむ
 乳飲み子
 遅々として
 千々に[ちぢに]
 乳離れ
 ちなみに
 ちなむ
 血祭り
 血迷う
 ち密[; 「緻密」とは書かない]
 茶入れ
 茶漬け
 茶摘み
 茶飲み茶わん
 茶話
 茶わん蒸し
 宙返り
 衷心[; 言い換え例「心から」]
 駐屯
 注文
 帳消し
帳尻
 聴取する[; 言い換え例「聞く」「聞き取る」]
 徴収済額
 挑戦
頂戴
 帳付け

腸詰め
嘲笑
 ちようど[; 「丁度」とは書かない]
貼付
 眺望
 ちよう結び
 ちよっと[; 「一寸」とは書かない]
 散らかす
 散らかる
 散らし書き
 散らし髪
 散らす
 散らばる
 散り散りに
 ちり取り
 散る
 賃上げ
 賃貸し
 賃借り
 沈殿

っ

費え
 費える
 追求[利潤を追求する、幸福を追求する]
 追及[責任を追及する]
 追究[真理を追究する]
 一日[ついたち]
 …ついて[このことについて]
 次いで(副詞)
 ついでに[ついでにこの仕事も頼む]
 ついては(接続詞)[ついては、…]
 ついに(副詞)[; 「遂に」とは書かない]
 費やす
 通行止め

通常払い
 使い
 使い方
 使いかって[; 「使い勝手」とは書かない]
 使い込み
 使い込む
 使い手
 使い果たす
 使い古す
 使う
 遣う[心・気を遣う、小遣い、仮名遣い]
 仕える
 尽かす[愛想を尽かす]
 捕まえる
 捕まる
 漬かる
 疲れ
 疲れる
 遣わす[差し遣わす]
 突き
 つき[顔つき、目つき、体つき]
 …付き[おまけ付き(例外:条件付採用)]
 次[つき][次のとおり、次々と]
 継ぎ
 付き合い
 付き合う
 突き当たり
 突き合わせる
 継ぎ合わせる
 月後れ
 月遅れ
 突き落とす
 月掛
 月掛貯金
 接ぎ木

月ぎめ
 付添い{;名詞的用法}
 付添人
 付き添う
 継ぎ足し
 突き出す
 月足らず
 次々に
 突き付ける
 突き詰める
 継ぎ手
 突き通す
 突き飛ばす
 突き止める
 月並み
 次に
 突き抜ける
 尽き果てる
 突き放す
 月払
 継ぎ目
 築山
 尽きる
 月割り
 付く{利息が付く, 味方に付く}
 突く
 着く{手紙が着く, 船を岸に着ける}
 就く{緒に就く, 職に就く, 役に就ける}
 次ぐ{事件が相次ぐ, 取り次ぐ}
 接ぐ{木を接ぐ, 接ぎ木}
 継ぐ{跡を継ぐ, 引き継ぐ}
 尽くす
 償い
 償う
 作り

造り
 つくり{偏とつくり}
 作り方
 作り事
 造り酒屋
 作り付け
 作り直し
 作り話
 作り物
 作り笑い
 作る{米を作る, 実績を作る}
 造る{船を造る, 庭園を造る}
 創る{新たな文化を創る}
 繕い
 繕い物
 繕う
 付け
 …付け{〇月〇日付け, (例外:日付)}
 付け合わせる
 告げ口
 付け加える
 付け足し
 付け届け
 …漬け{アルコール漬け}
 漬け菜
 漬物
 付け焼き
 付け焼き刃
 つける{後をつける, 活気づく, かたをつける}
 付ける{条件を付ける, 付け替える}
 就ける{仕事に就ける}
 着ける{席に着ける}
 漬ける{ぬかに漬ける}
 告げる
 都合{都合で, 都合〇万円}

伝う
 伝え
 伝える
 伝わる
 培う
 土煙
 土運び
 突っ返す
 続き
 続き物
 突っ切る
 つつく{;「突く」とは書かない}
 続く
 続ける
 突っ込む
 慎み
 慎む{身を慎む, 言葉を慎む}
 謹む
 謹んで{謹んで祝意を表する}
 筒抜け
 突っ張る
 包み
 包み紙
 包む
 つづる{;「綴る」とは書かない}
 都度{その都度}
 集い
 集う
 務まる
 勤まる
 務め
 勤め
 勤め口
 勤め先
 努めて{努めて早起きする}

勤め人
 努める{解決に努める, 完成に努める}
 務める{議長を務める, 主役を務める}
 勤める{会社に勤める}
 つながる{;「繋がる」とは書かない}
 綱引き
 綱渡り
 常に
 角突き合い
 募る
漬す
 つぼ焼き
 つまづく
爪弾く
 つまびらか
 つまみ食い
 詰まる
 詰み
 積卸し{;名詞的用法}
 積卸施設
 積替え{;名詞的用法}
 積み替える
 積み木
 積み金
 摘み草
 積み肥
 積込み{;名詞的用法}
 積出し{;名詞的用法}
 積出地
 積立て{;名詞的用法}
 積立金
 積み立てる
 罪作り
 積付け{;名詞的用法}
 積荷

積み残し
 罪滅ぼし
 摘む
 積む
 詰む
 紡ぐ
 つむじ曲がり
 詰め合わせ
 詰め合わせる
 詰め襟
 詰め替え
 詰め替える
 詰め掛ける
 詰め込む
 詰所
 詰め将棋
 冷たい
 冷たさ
 詰め腹
 詰め物
 詰め寄る
 詰める
 つもり{そのつもりだ}
 積もり{心積もり, 見積もり}
 積もる
艶消し
 梅雨明け
 露払い
 梅雨晴れ
 強い
 強がる
 強まる
 強み
 強める
 つらい{仕事がつらい}

面構え
 連なる
 貫く
 連ねる
 釣り
 釣合い{; 名詞的用法}
 釣り上げる
 釣り糸
 釣鐘
 釣りざお
 釣銭
 釣り棚
 釣り手
 釣り道具
 釣針
 釣り舟
 釣堀
 釣る
 連れ
 連れ合い
 連れ子
 連れ添う
 連れ立つ
 連れ弾き
 連れる

て

手合い
 出会い頭
 出合う
 手厚い
 手当
 手編み
 手洗い
 手荒い

手洗い所
 手合わせ
 提示
 呈示{身分証票を呈示}
 抵触
 (…を)呈する{; 言い換え例「(…を)示す」}
 丁寧
 出入り
 出入口
 手入れ
 手打ち
 手討ち
 手打ちそば
 手負い
 手後れ
 手押し車
 手落ち
 手踊り
 手掛かり
 手懸かり
 出掛け
 出掛ける
 出稼ぎ
 手堅い
 出語り
 手軽だ
 出来{出来心, 出来事, 出来上がる}
 …出来{上出来, 不出来}
 出来合い
 出来上がり
 出来上がる
 的確{的確な判断・意見・対策}
 適確{適確な措置, 適確に遂行する}→的確で代用可
 適格{適格者, 適格審査}
 適宜{; (なるべく使用しない)}

出来心
 出来事
 適切だ
 出来高払
 出来栄え
 出来る{資料が出来る, 駅が出来る}
 できる{利用できる, できるだけ…}
 手切れ
 手切れ金
 手際{手際が良い}
 手配り
手応え
 凸凹[でこぼこ]
手頃{手頃な大きさ}
 出盛り
 手探り
 手提げ
 手触り
 手ずから
 出過ぎ
 手刷り
 出初め式
 手出し
 手助け
 手だて
 手違い
 手近だ
 手付き
 手作り
 手付け
 手付金
 手伝い
 手伝う
 手続
 徹底{; 「徹底」とは書かない}

出っ張る
 手釣り
 手取り
 手取り金
 手直し
 手並み
 手習い
 手縫い
 手抜き
 手始め
 出始め
 手はず[手はずを整える]
 手放し
 手放す
 手控え
 手引[指導の手引, 手引書]
 手引き[手引きをする]
 手引書
 手振り
 手招き
 手回し
 手回り
 手回品
 出回る
 手短に
 手向かい
 出迎え
 手持ち
 手持品
 手元
 手盛り
 てらう[奇をてらう]
 照らし合わす
 照らし合わせる
 照らす

寺参り
 照り
 照り返し
 照り焼き
 照る
 出る
 照れる
 手分け
 手渡し
 田楽刺し
 天引き
貼付
 てん末[「顛末」とは書かない]

と

 度合い
 投網[とあみ]
 問い
問合せ[; 名詞的用法]
問合せ先
 問い合わせる
 問いただす
 問屋[といや]
 問う
 胴上げ
 倒壊
 当該[; 言い換え例「その」「この」]
 統括[全体を統括する, 意見を統括する]
 統轄[支店を統轄する]
 道具立て
憧憬
 洞察
 同士討ち
 胴締め
 同上

当世向き
 灯台守
 到底[到底できない]
 尊い[尊い犠牲, 尊い教え]
 貴い[貴い資料, 貴い人命]
 とうとう[とうとう決定した]
 尊ぶ
 貴ぶ
 頭取
 胴震い
 胴巻き
 胴回り
 十重二十重[とえはたえ]
 十[とお]
 遠い
 遠く
 遠ざかる
 遠ざける
 通し
 通し切符
 通し狂言
 搭乗
 通す
 遠のく
 遠乗り
 遠巻き
 遠回し
 遠回り
 …とおり[次のとおり, 従来どおり, 通知どおり]
 通り[銀座通り, 一通り]
 通り雨
 通り掛かり
 通り掛かる
 通り過ぎる
 通り相場

通り抜け
 通り抜ける
 通り道
 通る
 ト書き
 溶かす
 解かす
 時[時たま, 若い時, 勤めていた時]
 …とき(…の場合の意)[出席できないとき, 不在のとき]
 どぎも[; 「度肝」とは書かない]
 時折
 解き方
 説き伏せる
 時めく
 解き物
 度胸
 溶く[絵の具を溶く]
 解く[誤解を解く, 警戒を解く]
 説く
 研ぐ
 毒消し
 特段の[; (なるべく使わない); 言い換え例「改めて」「特別の」「特に」]
 特徴
 特長[この例規集の特長, 特長を伸ばす]
 毒づく[特徴のある声, 犯人の特徴]
 特に(副詞)
 解け合う
 溶ける[地域社会に溶け込む]
 解ける[結び目が解ける]
 遂げる
 どこ[; 「何処」とは書かない]
 床上げ
 床飾り
 …ところ[現在のところ]
 所にこの地が家を建てる所, 所書き

ところが(接続詞){ところが、…}
 所書き
 ところで(接続詞){ところで、…}
 閉ざす
 年越し
 閉じ込める
閉じ籠もる
 戸締まり
 年回り
 年寄り
 とじる{;「綴じる」とは書かない}
 閉じる{門を閉じる}
 年忘れ
 どだい{どだい無理な話だ}
 と畜
 嫁ぎ先
 嫁ぐ
 突然
 とても(副詞){とても美しい}
 届く
 届け
 …届(欠席届)
 届け先
 届け書
 届け済み
 届出
 届け出る
 届ける
 滞り
 滞る
 整う
 調う
 整える{身辺を整える, 調子を整える}
 調える{味を調える, 晴れ着を調える}
 とどまる{思いとどまる}

とどめる{記録にとどめる}
 …とともに{報告書とともに資料を}
 唱える
 隣
 隣り合う
 隣村
 とはいうものの
 とはいえ
賭博
 飛ばす
 飛び上がる
 跳び上がる
 飛び石
 飛び入り
 飛び交う
 飛び切り
 飛び込み
 飛び込む
 飛び出しナイフ
 飛び出す
 飛び立つ
 飛び地
 飛び道具
 飛びのく{;「飛び退く」とは書かない}
 飛び乗る
 飛び火
 飛び回る
 土俵入り
 扉
 土瓶蒸し
 飛ぶ
 跳ぶ
 乏しい
 乏しさ
 富ます

戸惑い
 止まり
 泊まり
 留まり
 泊まり掛け
 止まり木
 泊まり客
 止まる{時計が止まる}
 泊まる
 留まる{小鳥が枝に留まる}
 富
 富み栄える
 とみに{;言い換え例「にわかに」「急に」「急速に」}
 富む
 弔い
 弔う
 留め置き
 留置電報
 留め針
 止める{息を止める, 筆を止める, 足止め}
 泊める
 留める{ボタンを留める, 命を取り留める}
 …とも{…とともに, 今後とも}
 …ども{私ども}
 共稼ぎ
 共切れ
 共食い
 共倒れ
 友達
 友釣り
 共々(副詞)
 伴う
 共に(副詞){共に手を取り合って}
 供回り
 度盛り

土用干し
 土用休み
捉える{機会を捉える}
 捕らえる{泥棒を捕らえる}
虎の巻
 捕られる
 取り合う
 取りあえず{取りあえず御報告まで}
 取上げ{;名詞的用法}
 取り上げる
 取扱い{;名詞的用法}
 取扱所
 取扱高
 取扱注意
 取扱人
 取扱品
 取扱法
 取り扱う
 取り合わせ
 取り入る
 取り入れ
 取入口
 取り入れる
 鳥撃ち
 取り柄
 取り押さえる
 取卸し{;名詞的用法}
 取替え{;名詞的用法}
 取替品
 取り替える
 取り掛かる
 取り囲む
 取り片付ける
 取決め{;名詞的用法}
 取り決める{;動詞的用法}

取崩し{;名詞的用法}
 取り崩す
 取り口
 取組{;名詞的用法}
 取り組む{;動詞的用法}
 取消し{;名詞的用法}
 取消し記事
 取消処分
 取り消す
 取り込み
 取り込む
 取壊し{;名詞的用法}
 取り壊す
 取下げ{;名詞的用法}
 取り下げる
 鳥刺し
取り沙汰
 取締り{;名詞的用法}
 取締法(麻薬～)
 取締役
 取り締まる
 取調べ{;名詞的用法}
 取り調べる
 取り高
 取立て{;名詞的用法}
 取立金
 取立訴訟
 取り立てる
 取り違える
 取次ぎ{;名詞的用法}
 取次店
 取り次ぐ
 取付け{;名詞的用法}
 取付工事
 取り付ける

捕り縄
 取り残し
 取り残す
 取り除く
 取り計らい
 取り計らう
 取り運び
 取り運ぶ
 取り払い
 取り払う
 取引{;名詞的用法}
 取引所
 取り分
 取り巻き
 取り巻く
 取りまとめ
 取り乱す
 取り持ち
 取り持つ
 取戻し{;名詞的用法}
 取り戻す
 取戻請求権
 捕り物
 取りやめ
 取り寄せる
 取り分け
 取る{連絡を取る}
 採る{会議で決を採る}
 執る{事務を執る}
 撮る{写真を撮る}
 捕る{生け捕る}
 取れ高
 泥仕合
 度忘れ
 …井[どん][牛井]

井[どんぶり]
 丼飯[どんぶりめし]
 問屋[とんや]
食欲

な

ない(助動詞){行かない}
 ない{欠点がない, 金がない; (「ない」と書く例外: 有り・無し)}
 無い{無い物ねだり; (「ない」と書く例外: 有り・無し)}
 亡い
 ないし{北ないし北東の風}
養える
 なお{なお…, なおさら}
 直し
 直す{機嫌を直す, やり直す}
 治す{けがを治す}
 直る
 治る
 名折れ
 中{その中の一人}
 長い{気が長い, 長い目で見る}
 永い{永の別れ, 末永く契る}
 長生き
 仲買
 仲買人
 流し
 流し込む
 泣かす
 鳴かす
 流す
 仲立業
 仲立人
 中継ぎ
 長続き
 中積み

仲直り
 なかなか{なかなか現れない}
 半ば{半ばあきらめる}
 仲働き
 長引く
 眺め
 眺める
 ながら{歩きながら話す}
 長らえる
 流れ
 なかんずく{;言い換え例「なかでも」「取り分け」}
 流れ込む
 流れ造り
 流れ星
 流れる
 長患い
 泣き
 鳴き
 泣き顔
 泣き暮らす
 泣き声
 鳴き声
 泣き言
 泣き叫ぶ
 泣き沈む
 泣き上戸
 泣き寝入り
 亡き人
 鳴きまね
 泣き虫
 泣き別れ
 泣き笑い
 泣く
 鳴く
 慰み

慰む
 慰め
 慰める
 亡くす
 無くす
 亡くなる
 無くなる
 殴り合い
 殴り込み
 殴る
 投げ足
 投げ入れ
 投げ入れる
 投売り; 名詞的用法
 投売品
 投げ掛ける
 嘆かわしい
 嘆き
 嘆く
 投げ込む
 投げ捨て
 投げ捨てる
 投げ出す
 投げ付ける
 投げ飛ばす
 投げやり
 投げる
 仲人[なこうど]
 和む
 和やかだ
 名残[なごり]
 情け; 「情[なさけ]」とは書かない
 名指し
 成し遂げる
 成す

なぜ; 「何故」とは書かない
 なぞ; 「謎」とは書かない
 雪崩[なだれ]
 懐かしい
 懐かしむ
 懐く
 名付け
 名付け親
 懐ける
 名付ける
 捺印; 言い換え例「押印」「印鑑を押す」
 夏負け
 夏向け
 夏休み
 …など
 名取り
 七つ
 七曲がり
 斜め
 斜めに
 何
 何とぞ; 「何卒」とは書かない
 何分(何分よろしく; (公用文では使用しない))
 名のる
 生揚げ
 名前
 怠け者
 怠ける
 生々しい
 生煮え
 生焼け
 生酔い
 並[並の品, 人並み]
 並足
 波打ち際

並木
 涙ぐましい
 涙ぐむ
 波立つ
 並々[並々ならぬ]
 並の品
 滑らかだ
 悩ましい
 悩ます
 悩み
 悩む
 ならば; 「ば」を略し「なら」と書かない
 習い
 習う
 倣う(前例に倣う)
 鳴らす
 慣らす
 並び
 並び大名
 並び立つ
 並びに{(a及びb)並びに(c及びd)}
 並ぶ
 並べる
 習わし
 鳴り
 成り上がり
 成り上がる
 成金
 成り下がる
 成り立ち
 成り立つ
 鳴り物入り
 成り行き
 なる[1万円になる, 小さくなる]
 なるほど

成る(本表と付表とから成る)
 鳴る
 鳴子
 なるべく{なるべく早くする}
 なるほど
 慣れ
 なれ合い
 なれる; 「馴れる」とは書かない
 慣れる{仕事に慣れる, 慣れた手つき}
 縄編み
 縄跳び
 縄張
 何[なん]{何でもない, 何にも, 何のことか}
 何ら{何らか; 言い換え例「何も」「何の」「少しも」}

に

似合い
 荷揚げ
 荷扱場
 兄さん
 荷受け
 荷受人
 煮え
 煮え返る
 煮え立つ
 煮え湯
 煮える
 匂い{花の匂い}
 臭い{生ごみの臭い}
 苦い
 二階建て
 二階造り
 逃がす
 苦々しい
 苦み

似通う
 苦り切る
 苦笑い
 握り
握り拳
 握りずし
握り潰す
 握り飯
 握る
 にぎやか{;「賑やか」とは書かない}
 にぎわう{;「賑わう」とは書かない}
 …にくい{実行しにくい, 言いにくい}
 憎い
 肉入り
 肉入れ
 肉切り
 憎げ
 憎さ
 憎しみ
 肉付き
 憎まれ口
 憎み
 憎む
 憎らしい
 逃げ
 逃げ足
 逃げ口上
 逃げ腰
 逃げ支度
 逃げ出す
 逃げ回る
 逃げ道
 逃げる
 濁す
 濁らす

濁り
 濁り酒
 濁り水
 濁る
 荷さばき
缸
 西陣織
 にじむ{色がにじむ}
 西向き
 似せる
 煮出し汁
 二段抜き
 似つかわしい
 荷造り
 荷造機
 荷造費
 煮付け
 荷積み
 …にて{;言い換え例「で」「のために」}
 二頭立て
 担う{双肩に担う, 重責を担う}
 二の替わり
 二の次
 二の舞
 鈍い
 鈍さ
 鈍らす
 鈍る
 煮干し
 二本立て
 煮やす{業を煮やす}
 如実に{如実に示す}
 似寄り
 にらむ{;「睨む」とは書かない}
 似る

煮る
 にわか{にわかにな, にわかになの}
 にわか雨
 にわか仕込み
 庭伝い
 人気取り

ぬ

縫い
 縫い上げ
 縫い上げる
 縫い糸
 縫い返し
 縫い返す
 縫い方
 縫い込み
 縫い込む
 縫い取り
 縫い目
 縫い物
 縫い紋
 縫う
 抜かす
 脱がす
 ぬか喜び
 抜かり
 抜かる
 抜き足
 抜き打ち
 抜き襟
 抜き書き
 抜き差し
 脱ぎ捨てる
 抜き出す
 抜き手

抜取り{;名詞的用法}
 抜き取る
 抜き身
 抜き読み
 抜く
 脱ぐ
拭い取る
拭う
 ぬくもり
 抜け穴
 抜け駆け
 抜け殻
 抜け替わる
 抜け毛
 抜け出す
 抜け道
 抜け目
 抜ける
 脱げる
 盗み
 盗み足
 盗み聞き
 盗み食い
 盗み取る
 盗み読み
 盗む
 塗り
 …塗(工芸品)
 塗り上げる
 塗り替え
 塗り方
 塗り薬
 塗りげた
 塗り立てる
 塗里机

塗り付ける
塗り潰す
 塗り盆
 塗り物
 塗る
 ぬるい〔茶がぬるい〕
 ぬれる〔「濡れる」とは書かない〕

ね

値上がり
 値上げ
 寝入りばな
 寝入る
 値打ち
 姉さん
 寝起き
 願
 …願(休暇願)
 願い上げる
 願い事
 願い下げ
 願い下げる
 願い出
 願い出る
 願う
 寝返り
 寝かす
 願わくは
 願わしい
 寝込み
 寝込む
 値下がり
 値下げ
 根ざす
 ねじ回し

寝過ぎす
 ねずみ取り
妬む
 根絶やし
 寝付き
 値積もり
 寝泊まり
 粘り
 粘り強い
 粘り強さ
 粘る
 寝冷え
 値引き
 値踏み
 根掘り葉掘り
 寝巻き
 眠
 眠がる
 眠気
 眠たい
 眠らす
 眠り
 眠り薬
 眠る
狙い撃ち
狙う

練れる
 根分け
 念入り
 懇ろ〔懇ろにもてなす〕
捻挫〔足首を捻挫する〕
捻出〔資金を捻出する〕
 念頭において〔: 言い換え例「考えて」「考えながら」〕
 念のため申し添えます〔: (なるべく使用しない)〕

の

野遊び
 野荒らし
 能書き
 納付済期間
 脳裏
 能力・意欲〔: 「・」を入れる〕
 逃す
 逃れる
 軒並み
 のける〔: 「除ける」とは書かない〕
 残し
 残す
 残り
 残り物
 残る
 のし上がる
 乗せる〔電波に乗せる, おだてに乗せる〕
 載せる〔トラックに載せる, 官報に載せる〕
 のぞき込む
 除く
 野育ち
 望ましい
 望み
 望み薄だ
 望む〔富士山を望む, 平和を望む〕

臨む〔湖に臨む家, お別れに臨んで〕
 後添い
 後ほど〔後ほど連絡する〕
 のっとる〔規則にのっとる〕
噎
罵る
 伸ばす〔勢力を伸ばす〕
 延ばす〔開会を延ばす〕
 野放し
 伸び
 伸び〔支払が伸び延びになる〕
 伸び上がる
 伸び縮み
 伸びる〔学力が伸びる〕
 延びる
 延べ
 延べ金
 延べ人員
 延べ坪
 延べ日数
 延べる〔期日を延べる, 金の延べ板〕
伸べる〔救いの手を伸べる〕
 述べる
 上せる
 上らす
 上り
 登り
 上り下り
 登り口
 上り坂
 上り列車
 上る〔石段を登る, 坂を上る, うわさに上る〕
 登る〔山に登る, 沢を登る〕
 昇る〔日が昇る, 重役の地位に昇る〕
 飲みかけ

飲み食い
 飲み薬
 のみ込み{のみ込みが早い, のみ込みが悪い}
 飲み込む
 飲み倒す
 飲み手
 のみ取り粉
 のみならず{; 言い換え例「だけでなく」}
 飲み逃げ
 飲み干す
 飲み水
 飲物
 飲み屋
 のみ屋{競馬ののみ屋}
 飲む{水を飲む}
 野良[のら]
 乗り合い
 乗合船
 乗合旅客
 乗り合わせる
 乗り入れ
 乗り入れる
 乗り移る
 乗り降り
 乗換え{; 名詞的用法}
 乗換駅
 乗換券
 乗り換える
 乗り掛かる
 乗り気
 乗り切る
 乗組み{; 名詞的用法}
 乗組員
 乗り組む
 乗り越える

乗り越し
 乗り越す
 乗り込む
 乗り出す
 乗りづめ
 乗り手
 祝詞[のりと]
 のり巻き
 乗り回す
 のり面{; 「法面」とは書かない}
 乗り物
 乗る
 載る
呪う

は

場合
 把握
 場当たり
 配意{; 言い換え例「配慮」「心遣い」}
 ばい煙
 灰落とし
 排水溝
 排せつ{; 「排泄」とは書かない}
配膳
 はい出る
 配当付き
 はい取り
 はい取り紙
 配布
 配付{; 「～配付金」のような特別な場合以外は「配布」}
 灰吹き
 倍増し
 倍増し料金
 入る

歯入れ
 栄える
 生え抜き
 生える
 映える
 栄える
 羽織
 羽交い締め
 はがき
剥がす
 化かす
 博士[はかせ]
 博多織
 はかどる{; 「捗る」とは書かない}
 はかない{はかない夢}
 墓参り
 計らい
 計らう
 図らずも{; 「はからずも」も可}
 図られたい{; 言い換え例「するようにしてください」「をお願いします」}
 測り
 計り
 量り
 …ばかり{こればかり, …するばかり}
 量り売り
 はかりごと{; 「謀, 計り事」とは書かない}
 はかり知れない
 図る{合理化を図る, 解決を図る; 言い換え例「します」「していきます」}
 測る{距離を測る, 人の心を測る}
 計る{経済の伸張を計る}
 量る{目方を量る, 容積を量る}
 謀る{暗殺を謀る}
 諮る{会議に諮る}
 図るべく{; 言い換え例「するように」「するために」}
剥がれる

破棄
 吐き気
 吐き出し
 掃き立て
 掃きだめ
 履物
 歯切れ
 吐く
 掃く
 履く
剥ぐ
責む
 漠然{漠然とした}
 ばくだい{; 「莫大」とは書かない}
剥奪
 激しい
 激しさ
 励まし
 励ます
 励み
 励む
 化け物
 化ける
 覇権
 箱入り
 箱入り娘
 箱書き
 運び
 運ぶ
 挟まる
 挟み打ち
 挟む
簞
 恥
 恥じ入る

端書き
 恥さらし
 端近だ
 橋詰め
 始まり
 始まる
 始め{始めと終わり, 始めから}
 …を始め{;「…をはじめ」も許容}
 初め{初めの考え, 年の初め}
 初めて
 始める
 恥じらい
 恥じらう
 走り
 走り書き
 走り使い
 走る
 恥じる
 はず{できるはずがない}
 端数
 恥ずかしい
 辱め
 辱める
 外す
 弾み
 弾む
 外れる
麗声
 肌合い
 機織り
 畑違い
 肌寒い
 肌触り
 果たし合い
 果たし状

果たして
 果たす
破綻
 二十
 二十歳
 肌脱ぎ
 旗持ち
 働かす
 働き
 働き盛り
 働き手
働き蜂
 働く
 罰当たり
 鉢合わせ
 鉢植え
 鉢巻き
 二十日
 初恋
 発行済株式
 初氷
 初刷り
 初便り
 抜てき{;「抜擢」とは書かない}
初詣
 はつらつ
 果て
 派手{派手な服装}
 果てしない
 果てる
黒倒
 波止場
 歯止め
 花合わせ
 花曇り

花盛り
 話
 話し合い{;名詞的用法}
 話し相手
 話し合う
 話し合い
 話し方
 話し好き
 話し手
 放す{見放す, 人質を放す}
 話す
 離す{仲を離す, 目を離す}
 花立て
 花便り
 放つ
 花尽くし
 花作り
 花摘み
 甚だ{甚だ大きい, 甚だしい; 言い換え例「大変」「大層」}
 甚だしい
 華々しい
 花祭り
 花結び
 華やかだ
 華やぐ
 歯並び
 離れ
 離れ座敷
 離れ島
 離れ家
 放れる
 離れる
 離れ業
 羽飾り
 跳ね回る

跳ねる
 幅{;「巾」とは書かない}
 はばかり
 阻む{;言い換え例「妨げる」}
 はびこる
 省く
 葉巻
 浜伝い
 浜焼き
 歯磨き
 歯磨粉
 はや{はや十年}
 早い{時期が早い, 矢継ぎ早}
 速い{流れが速い, テンポが速い}
 早打ち
 早撃ち
 早起き
 早帰り
 早合点
 早変わり
 速さ
 早咲き
 早死に
 はやし立てる
 生やす
 早まる
 早める
 速める
 はやり廃り{;「流行り廃り」とは書かない}
 腹当て
 払い
 払込み{;名詞的用法}
 払込期日
 払込金
 払い込む

払下げ{;名詞的用法}
 払下品
 払い下げる
 払出し{;名詞的用法}
 払出金
 払い出す
 払戻し{;名詞的用法}
 払戻金
 払戻証書
 払い戻す
 払い物
 払渡し{;名詞的用法}
 払渡金
 払渡済み
 払い渡す
 払う
 腹帯
 腹掛け
 腹切り
 腹下し
 腹黒い
腫らす
 晴らす
 腹立ち
 腹違い
 張り
 張り合い
 張り替え
 張り切る
 張り子
 張り込み
 張り込む
 張り裂ける
 針刺し
 張り出し

張出小結
 張り出す
貼付け{;名刺的用法}
貼り付ける
貼る
 張る
 はるか{;「遙か」とは書かない}
 春めく
 晴れ
 晴れ着
 晴れ間
 晴れやかだ
 晴れる
腫れる
 刃渡り
 番組
 番組狂わせ
 半殺し
 煩雑{事務手続が煩雑, 煩雑な手続}
 繁雑{繁雑な事務, 繁雑な構造}
 万全を期するよう{;言い換え例「十分に注意するよう」「あらゆる努力をするよう」}
半袖
 番付
斑点
 判取り帳
汎用
汎濫
 凡例

ひ

 干上がる
 火遊び
 日当たり
 ひいては(副詞)
 秀でる

火入れ
 火入れ式
 火打ち石
 冷え
 冷感性
 冷える
 控え
 控室
 控え目
 日帰り
 控える
 日掛け
 日陰{日陰で休む, 日陰の身}
 日影{障子に日影が差す}
 引かされる
 引かす
 干潟
 光らす
 光
 光り輝く
 光る
 引き
 引き合い
 引上げ
 引揚げ{;名詞的用法}
 引揚者
 引き上げる
 引き揚げる
 引当金
 引き合わせ
 引き合わせる
 率いる
 引き入れる
 引受け{;名詞的用法}
 引受時刻

引受人
 引き受ける
 引起し{;名詞的用法}
 引き起こす{;「惹き起こす」とは書かない}
 引換え{;名詞的用法}
 …引換{代金引換}
 引換券
 引き返す
 引き換える
 引き金
 引込み{;名詞的用法}
 引込線
 引き込む
引き籠もる
 引き下がる
 引下げ{;名詞的用法}
 引き下げる
 引き算
 引き潮
 引き締まる
 引締め{;名詞的用法}
 引き据える
 引き出し
 引き出す
 引き立て
 引き立てる
 引継ぎ{;名詞的用法}
 引継事業
 引継調書
 引き継ぐ
 引き続き
 引き続く
 引き綱
 引き連れる
 引き手

弾き手	低める	引っ込み思案	人通り
引き出物	日暮れ	引っ込む	一飛び
引き戸	引け	必須 [ひつす]	人泣かせ
引き止め策	火消し	羊飼	人並み
引き止める	引け時	引っ張りだこ	一握り
引取り{;名詞的用法}	秘けつ{;「秘訣」とは書かない}	引っ張る	一寝入り
引取経費	引け目	日照り	一眠り
引取税	引ける	人集め	人払い
引取人	日ごと{;「日毎」とは書かない}	一打ち	人減らし
引き抜き	日頃	ひとえに	人任せ
引き抜く	膝	一思い	ひとまず{;「一先ず」とは書かない}
引き伸ばし	日盛り	一抱え	一回り
引き延ばし	日ざし	一重ね	人見知り
引き伸ばす	久しい	一方ならぬ	一群れ
引き延ばす	久しぶり	人聞き	一巡り
引き払う	ひざまずく	一切れ	一休み
引き幕	肘	ひところ{;「一頃」とは書かない}	人寄せ
引き眉	火攻め	人混み	一人{一人一人, 一人っ子, 一人の力}
引き回し	火責め	人騒がせ	独り{独り占め, 独り身, 独り…ばかりでなく}
引き回す	備前焼	等しい	日取り
引き水	ひ素{;「砒素」と書く場合は「ひ」と振り仮名を付ける}	ひとしお	1人当たり{;「一人当たり」とは書かない}
引き戻す	ひそかに{;「密かに」とは書かない}	ひとしく{;「斉しく」とは書かない(全員ひとしく賛成)}	独り言
引き物	潜まる	人死に	独り占め
ひきょう{;「卑怯」とは書かない}	潜む	一そろい{;「一揃い」とは書かない}	独り立ち
引き寄せる	潜める	人助け	一人一人
引き分け	浸す	人頼み	独り者
引渡し{;名詞的用法}	ひたすら{ひたすら書き続けた}	一たび{;「一度」とは書かない}	ひとわたり{;「一渡り」とは書かない}
引渡済み	左利き	人違い	ひな遊び
引渡人	左巻き	一つ	ひな祭り
引き渡す	浸る	ひとつ{ひとつよろしく}	火の氣
引く	ひっきょう{;「畢竟」とは書かない}	人使い	日延べ
弾く	日付	一突き	響かす
低い	引っ越し	人付き合い	響き
低さ	引っ越す	一続き	響く
低まる	引っ込み	一通り[ひととおり]	ひび割れ

秘める	翻す	封切り	福引券
ひもとく{歴史をひもとく}	翻る	封切館	含まる
ぴんとこない	屋下がり	封じ目	含み
冷や	屋過ぎ	夫婦連れ	含む
冷や汗	ひるむ	殖える{財産が殖える}	含める
冷やかし	昼休み	増える{人数が増える}	膨らみ
冷やかす	広い	深い	膨らむ
白衣[びゃくい]	拾い主	深入り	膨れる
冷や酒	拾い物	不可欠である{;言い換え例「欠かせません」「一番大事です」}	袋縫い
冷やす	拾い読み	更かす	老け役
日雇	拾う	深情け	老ける
冷や水	披露	深まる	更ける
冷や麦	広がり	深み	塞がる
冷や飯	広がる{;「拡がる」とは書かない}	深める	塞ぐ
冷ややかだ	広げる	吹き上げる	ふさわしい{;「相応しい」とは書かない}
表記{表記の金額, 国語の表記}	広々と	吹き替え	伏し拝む
標記{標記のことについて;言い換え例「このことについて」}	広まる	吹き込み	節付け
表示{意思表示}	広める	吹き込む	節回し
標示{禁煙の標示板, 危険箇所を標示}	日割り	吹きさらし	伏し目
表題{著書の表題, 台本の表題}	日割計算	吹き出す	不十分{この調査は不十分である}
標題{講演の標題, 演劇の標題}	瓶詰	噴き出す	不精{;「無精」とは書かない}
病棟	頻繁	吹きだまり	付す
日和[ひより]	貧乏揺すり	吹き出物	伏す
平謝り		吹き通し	防ぎ
平泳ぎ		吹き流し	防ぐ
開き		吹き抜き	伏せ字
開き戸	附{附則, 附属, 附帯, 附置, 寄附}	吹き降り	敷設
開き直る	付{付記, 付随, 付与, 付録, 交付, 給付}	普及啓発{;「・」を入れない}	布設{水道管の布設}
開き封	歩合	吹き寄せる	伏せる
開く	不意打ち	吹く	付箋
開ける	不意討ち	拭く	不遜
平たい	不入り	噴く	蓋
平に	風{洋風, 学者風の人}	ふく{屋根をふく}	不確かだ
平家(平屋)建て	…ふう(こいうふう)に, 知らないふうを装う}	福祉・医療{;「・」を入れる}	附帯{;「付帯」とは書かない}
干る	風変わり	福引	再び
	封かん		

二つ[二つとない宝]
 札付き
 二人[ふたり]
 ふだん[「普段」とは書かない]
 縁取り
 符丁
 二日[ふつか]
 二日酔い
払拭
 不釣合い
 筆入れ
 筆立て
 ふと(副詞){ふと思出す}
 太い
 ふ頭[「埠頭」と書く場合は「ふ」に振り仮名を付ける]
 ぶどう狩り
 太織り
 不届き
 歩留り
 太る
 船遊び
 船着き
 船着場
 船積み
 船積貨物
 船乗り
 船酔い
 不慣れ
 不似合い
 ふに落ちない
 不払
 賦払
 吹雪[ふぶき]
訃報
 踏まえて[「言い換え例「考えて」「参考にして」]

踏み石
 踏み板
 踏切
 踏切番
 踏み切る
 踏み込む
 踏み台
 踏み倒す
 踏み出す
 踏み段
 踏み付け
 踏み外す
 踏む
 不向き
 殖やす
 増やす
 冬枯れ
 不行き届き
 付与する[「言い換え例「付け加えます」「与えます」]
 降らす
 振り
 降り
 ぶり[知らないふりをする]
 ぶり(接頭語){三日ぶり、枝ぶり}
 振り合い
 振り落とす
 振替
 降り返る
 振り仮名
 振り切る
 振り子
 振込金
 降り込む
 振り捨てる
振り袖

振出し
 振出局
 振出人
 振り出す
 振り付け
 降り積もる
 振り回す
 振り向く
 振り分け
 振り分ける
 振る
 降る
 …ぶる(偉ぶる)
 古い
 震い(身震い)
 奮い立つ
 奮う[勇気を奮う]
 震う
 振るう[腕を振るう、事業が振るわない]
 ふるう[砂をふるう]
 震え
 震え声
 震える
 古す[使い古す]
 奮って[奮って参加してください]
 古びる
 振る舞い
 振る舞う
 古めかしい
 震わす[声を震わせる]
 触れ
 触れ合う
 触れ太鼓
 触れ回る
 触れる

振れる
風呂
風呂敷包み
 不渡り
 不渡手形
 雰囲気
 分割払
 分別盛り
 ふん尿[「糞尿」とは書かない]

^

 ページ[「頁」とは書かない]
 塀越し
閉塞
 べき[そうすべきである]
 へき地[「僻地」とは書かない]
 下手[へた]
 べた組み
 隔たり
 隔たる
 隔て
 隔てる
 へど[へどを吐く]
 別刷り
 別だ
 別段[「言い換え例「別に」「改めて」]
 別途[「言い換え例「改めて」「後日」]
 部屋
 部屋住み
 減らす
 減り{目減り}
 へり{川べり}
 減る
 経る{月日を経る}
 編集[新聞の編集]

編成{予算編成, 5人編成}
編制{学級を編制する, 部隊編制}
編製{戸籍の編製, 選挙人名簿の編製}
べんたつ{;「鞭撻」とは書かない}
片りん{;「片鱗」とは書かない}
返戻{; 言い換え例「返す」「戻す」}
ほ
方[ほう]{君の方が正しい, 先方, 諸方}
崩壊
砲丸投げ
俸給
褒章
膨大
棒立ち
膨張
棒引き
葬る
棒読み
頬
頬張る
放り上げる
放り出す
放る
△ 他 {公用文においては「ほか」は従来どおり原則平仮名表記}
外{殊の外, 何某外〇名}
ほか{特別の場合を除くほか, このほか}
帆掛け船
朗らかだ
僕
保健・医療{;「、」を入れる}
保健・医療行政{;「・」を入れる}
保健・医療・福祉{;「・」を入れる}
誇らしい
誇り

誇る
縮びる
…(て)ほしい{見てほしい}
欲しい{金が欲しい, 欲しがる}
干し魚
干し柿
欲しがる
干し草
星回り
干し物
干す
細い
捕捉
細引き
細る
蛍狩り
欲する{; 言い換え例「望みます」「お願いします」「求めます」}
掘っ建て小屋
勃発
補填
施し
施す
程{程遠い, 程なく, 身の程}
ほど{先ほど, 後ほど, 今朝ほど}
…ほど{少ないほど良い}
程遠い
ほとんど{;「殆んど」とは書かない}
穂並み
哺乳類
骨惜しみ
骨折り
骨組み
骨接ぎ
骨抜き
ほぼ(副詞){ほぼ間違いない}

誉れ
褒め言葉
褒め者
褒める
彫り
…彫(工芸品)
彫り上げる
掘り返す
掘り出し物
掘り出す
掘抜井戸
彫り物
掘り割り
彫る
掘る
滅びる
滅ぶ
滅ぼす
ほろ酔い
盆踊り
本決まり
盆暮れ
本件{; 言い換え例「このこと」「この件」}
本省誌
本所・支所{;「、」を入れる}
本庁・出先機関{;「、」を入れる}
本店誌
本当{本当の話, 本当に困る}
翻弄
ま
真新しい
舞
舞い上がる
舞扇

舞子
迷子[まいご]
舞い込む
まい進{;「邁進」とは書かない}
舞姫
舞い戻る
参る
まいる{…してまいります}
舞う
前祝い
前受金
前売り
前置き
前書き
前掛け
前貸し
前貸金
前借り
前払
前触れ
前向き
前向きに検討{; 言い換え例「実施するよう努力」「できるように検討」}
前渡し
間貸し
負かす
任す
任せる
賄い
賄う
曲がり
間借り
曲がり角
まかり通る
曲がりなりに
間借り人

曲がる
 巻
 巻上機
 巻き上げる
 巻き貝
 巻紙
 巻き髪
 巻き舌
 巻尺
 巻き添え
 巻付け{;名詞的用法}
 巻取り{;名詞的用法}
 巻き戻し
 巻物
 紛らす
 紛らわしい
 紛らわす
 紛れ
 紛れ込む
 紛れる
 間際{出発間際}
 巻く
 幕切れ
枕
 まぐれ当たり
 負け
 負け戦
 負け惜しみ
 負け癖
 負けじ魂
 負けず嫌い
 曲げ物
 負ける
 曲げる
 誠に(副詞){誠に重要な問題である}

孫引き
 まさか{まさかの時}
 正しく{正しく本物}
 正に{正に指摘のとおりである}
 勝り劣り
 混ぜり物
 勝る{;「優る」とは書かない}
 混ぜる{酒に水が混ぜる}
 交ざる{麻が交ざっている}
 増し
 まして(副詞){まして私には不可能である}
 交える
真面目
 交じらい
 混ぜりけ
 混ぜり物
 混ぜる{異物が混ぜる}
 交じる{漢字仮名交じり文, 交ぜ織り}
 交わり
 交わる
 増す
 まず(副詞)
 貧しい
 貧しさ
 ますます{;「益々」とは書かない}
 交ぜ織り
 混ぜ物
 混ぜる{絵の具を混ぜる}
 交ぜる{赤糸を交ぜる}
 また(接続詞){山また山, また、…}
 又{又の機会, 又聞き, 又貸し}
 瞬く
 又は(接続詞){A又はB}
 待合室
 待ち合わせ

待ち合わせ時間
 待ち合わせる
 間違い
 間違う
 間違える
 間近だ
 待ち遠しい
 待ち遠しさ
 町並み
 町外れ
 待ち人
 待ち伏せ
 まちまち{意見はまちまちだ}
 待つ
 真っ赤
 松飾り
 真っ青
 真っ盛り
 真っ先
 抹消
 真っ白
 全く
 全うする[まっとうする]
 祭り
 祭り上げる
 祭る
 まで{;「迄」とは書かない}
 惑い
 惑う
 窓掛け
 的外れ
 まとめる{;「纏める」とは書かない}
 間取り
 惑わす
 学び

学ぶ
 免れる
 まね{;「真似」とは書かない}
 招き
 招き猫
 招く
 目の当たり
 間延び
 まま{そのまま}
 真向かい
 豆絞り
 間もなく{間もなく列車が到着します}
 守り
 守り袋
 守り札
 守る
眉毛
 迷い
 迷い子
 迷う
 迷わす
 丸洗い
 円い{円い月, 円い窓, 円天井, 円い人柄}
 丸い
 円さ
 丸さ
 円み
 丸み
 丸める
 丸焼け
 まれ{世にもまれな話}
 回し者
 回す
 回り{身の回り, 胴回り}
 周り{池の周り, 周りの人}

回り合わせ	見掛け倒し	水引	貢ぎ物
回り舞台	身構え	水浸し	貢ぐ
回り道	身代わり	水増し	三つ組み
回り持ち	見聞き	水盛り	身繕い
回る	見切り	魅する	見付ける
真ん中	みぎり[酷暑のみぎり]	見せ掛け	三つ[みつつ]
み	見切り品	店先渡し	蜜蜂
み…(接頭語){み霊, み代}	見極める	見せ物	見積り{; 名詞的用法}
…み(接尾語){弱み, 有り難み}	見比べる	見せる	見積書
見合い	見苦しい	溝	見積もる
見合い結婚	見事	未曾有	三つ指
見飽きる	見込み	見損なう	未到{前人未到の記録}
見当たる	見込額	見出し	未踏{人跡未踏の秘境}
見合せ{; 名詞的用法}	見込数量	満たす{「充たす」とは書かない}	見通し
見いだす{「見出す」とは書かない}	見込み違い	乱す	見届ける
突入り	見込納付	見立て	認め
身動き	岬	淫ら	認め印
見失う	見定める	みだりに	認める
身売り	短い	乱れ	見取図
見え	短夜	乱れ髪	皆[みな]{皆さん, 皆が賛成した}
見え坊	惨めだ	乱れ箱	見直す
見える	見知り越し	乱れる	身投げ
見送り	水遊び	道{「路, 途, 径」とは書かない}	みなしご
見送人	水浴び	見違える	みなす{「看做す」とは書かない}
見納め	水洗い	身近だ	見習
見落とし	水入れ	満ち潮	見習工
見劣り	見据える	道連れ	見慣れる
見覚え	水掛け論	導き	見にくい{「見難い」とは書かない}
見返し	見透かす	導く	醜い
見返り	自ら{自ら名のり出る}	道行き	醜さ
見返物資	水煙	満ちる	峰越し
磨き粉	水差し	三つ[みつ]	峰続き
磨く	水攻め	三つ折り	見逃す
見掛け	水責め	三つ重ね	身の回り
	水張検査	三日[みっか]	実り

実る
 見栄え
 見計らい
 見始め
 未払
 未払勘定
 未払年金
 見晴らし
 見晴らし台
 見晴らす
 見張り
 見張り番
 身振り
 身震い
 見舞い
 見舞品
 見舞う
 耳打ち
 耳飾り
 耳鳴り
 耳寄り
 身持ち
 身元引受人
 土産[みやげ]
 都落ち
 都育ち
 宮仕え
 身寄り
裏利
 …(と)みられる[全員死亡したものとみられる]
 …(て)みる[見てみる]
 見る[景色を見る, 夢を見る, 面倒を見る]
 診る[患者を診る, 脈を診る]
 見渡し
 みんな[みんなで行こう]

む
向かい
向かい合う
向かい合わせ
向かい合わせる
向かい風
向かう
迎え
迎え火
迎える
昔語り
昔話
むかつく
向き
向き合う
麦打ち
(…の)向きは[; 言い換え例「…する人は」「…したい人は」]
向く
報い
報いる
向け
向ける
婿入り
向こう
向こう見ず
婿取り
貪る
蒸し暑い
蒸し返し
蒸し菓子
虫食い
蒸しずし
蒸しぶる
虫干し

蒸し焼き
 むしろ(副詞){むしろこの方が便利だ}
 蒸す
 難しい
 難しさ
 息子
 結び
 結び目
 結ぶ
 むせび泣き
 無造作[無造作に描く]
 無駄
 無駄遣い
 無駄話
 六つ[むつ]
 六つ切り
 六つ[むつつ]
 胸騒ぎ
 むなし[; 「空しい, 虚しい」とは書かない]
 旨[その旨、了解されたい]
 棟上げ
 棟上げ式
 棟割り長屋
 むやみ[むやみに言い触らす]
 群がる
 蒸らす
 群すずめ
 無理強い
 蒸れ
 群れ
 蒸れる
 群れる
 無論[無論正しい]
 室咲き

め
…目[三日目, 10番目]
…め(接尾語){少なめ, 長め, 細め, 厚め}
目[目を細める, 目が利く]
眼[眼を転ずる, 眼を開く, 寝ぼけ眼]
目新しい
目当て
名[; 敬意を表す場合、会則など「〇名(様)」]
名義書換
明快[明快な説明, 明快な答弁, 論旨明快]
明解[明解な注釈]
めいてい[; 「酩酊」とは書かない]
裏福
明々[明々白々]
銘々[銘々に分ける, 銘々皿]
明瞭
メートル[1メートル, 1m, 1平方メートル]
目移り
目隠し
目掛ける
眼鏡[めがね]
目利き
恵み
恵む
芽ぐむ
巡らす
巡り歩く
めくる[本のページをめくる]
めぐる[入札をめぐる疑惑]
巡る
目刺し
目指す
目覚まし
目覚め

目障り	申し合わせる	潜る	もつ焼き
召し上がる	申入れ{; 名詞的用法}	もくろみ{; 「目論見」とは書かない}	弄ぶ
飯炊き	申し入れる	猛者[もさ]	持て余す
召し物	申し受ける	もし(副詞){もしも私が…}	下[一撃の下に倒す, 法の下の平等]
目印	申し送り	若しくは(a若しくはb)又はc}	元[火の元, 元が掛かる, 元へ戻る]
めじろ押し	申し送る	燃す	本[本を正す, 本と末]
召す	申込み{; 名詞的用法}	もたらす{吉報をもたらす}	基[もと, もとい]{資料を基にする, 基づく}
珍しい	申込書	持ち上げる	もと{ケーキのもと}
珍しがる	申し込む	持ち合わせ	元請
珍しさ	申立て{; 名詞的用法}	持ち合わせる	元受高
目立つ	申立人	持ち合わせ品	元売業者
目つき	申し立てる	持家	戻入れ{; 名詞的用法}
めった{めったに, めったやたらに}	申しつける	用いる	元締(職分)
めでたい{めでたいことだ}	申出{; 名詞的用法}	持ち株	戻す{後戻り}
めど{; 「目処」とは書かない}	申し開き	持ち越し	基づく{法令に基づく; 「基づく」は誤り}
目通り	申し分	持ち駒	元どおり
目抜き	申し訳(申し訳ない)	持込み{; 名詞的用法}	求め
芽生える	申し渡し	持込禁止	求める
目張り	申し渡す	持ち出し	元結
目減り	妄信	持ち出し禁止	もとより{…はもとより}
女々しい	申す	持ち逃げ	戻り道
目盛り	妄想	持ち主	戻る
麵	誼でる	持ち場	物[物を大切に扱う]
面倒{面倒な仕事, 面倒を掛ける}	もう一つ	持分	者[18歳未満の者; 言い換え例「人」「方」]
も	網羅	持ち前	…もの{正しいものと認め, 目安を示すもの}
もう1度	燃え	持ち回り	物言い
もう1点	燃え上がる	持ち物	物忌み
もう一遍	燃え殻	持ち寄る	物憂い
設け	燃え盛る	もちろん(副詞){; 「勿論」とは書かない}	物売り
設ける	燃え尽きる	持つ	物置
もうける{; 「儲ける」とは書かない}	燃え残り	もって{; 「以て」とは書かない(…をもって); 言い換え例「…して」}	物惜しみ
申し上げる	燃える	(…をもって{; 言い換え例「…で」「(…に)よって」}	物覚え
申合せ{; 名詞的用法}	目途[もくと]{年末完成を目途とする; 言い換え例「目標」「目指す」}	もっとも{もっともな御意見}	物思い
申合せ事項	藻くず{; 「藻屑」とは書かない}	最も(副詞){最も大切に}	物語
	潜り込む	専ら(副詞){専ら仕事に力を入れる}	物狂い

物事
物指し、物差し
物知り
物好き
ものすごい
物取り
物干し
物干場
物持ち
物別れ
物忘れ
物笑い
もはや[「最早」とは書かない]
もみ消す
紅葉狩り
もむ{気をもむ、肩をもむ}
木綿[もめん]
桃割れ
燃やす
模様{空模様、荒れ模様、模様替え}
もよう{無事到着したもようである}
催し
催物
催す
最寄り{最寄りの駅}
もらい泣き
もらう{…してもらう、お金をもらう}
漏らす
漏り
盛り
盛り上がり
盛り上げる
盛り返す
盛り菓子
盛り切り

盛り砂
盛土
盛り花
漏る
盛る
漏れ
漏れる[「洩れる」とは書かない]
もろい{情にもろい}
もろもろ[「諸々」とは書かない]
門構え
紋切り型
門前払い
紋付き

や

八百長[やおちょう]
八百屋[やおや]
やがて{副詞}
やかましい[「喧しい」とは書かない]
焼き
…焼(工芸品)
焼き芋
焼き印
焼き金
焼きぐり
焼きごて
焼き魚
焼き塩
焼きそば
焼き立て
焼付け[名詞的用法]
焼き豆腐
焼き鳥
焼き直し
焼き肉

焼き刃
焼き場
焼き飯
焼き餅
焼き戻し
焼き物
焼く
厄落とし
役替え
役所勤め
役立つ
役付き
厄払い
役回り
役割
焼け
焼け跡
焼け石
焼け焦げ
焼け土
やけど[「火傷」とは書かない]
焼け野
焼け火箸
焼け太り
焼ける
家捜し
易しい{易しい問題}
優しい{優しい心遣い}
易しさ
優しさ
屋敷
養い親
養い子
養う
安上がり

…やすい{読みやすい、分かりやすい}
安い
安請け合い
安売り
安っぽい
休まる
休み
休み茶屋
休み所
休む
休める
安らかだ
安んずる
痩せ衰える
痩せ細る
痩せる{**痩せた土地**}
矢立て
八つ[やつ]
八つ当たり
厄介
矢継ぎ早
八つ裂き
八つ[やっつ]
雇い
雇入れ[名詞的用法]
雇入契約
雇止手当
雇人
雇主
雇う
宿す
宿り
宿り木
宿る
家並み

家鳴り
 屋根伝い
 やはり(副詞){やはり予想どおりであった}
 やぶ入り
 破る
 破れ
 破れ傘
 敗れる
 破れる
 病[やまい]
 山狩り
 山崩れ
 山越え
 山出し
 山伝い
 山続き
 大和[やまと]
 山登り
 山開き
 山伏
 山盛り
 山焼き
 山分け
聞
 病み上がり
聞**討ち**
 病み付き
 病む
 やむ{雨がやむ}
 やむを得ず{「止むを得ず」とは書かない}
 やめる{出張を取りやめる、たばこをやめる}
 辞める{「止める」とは書かない}
 やや(副詞){やや小さい}
 ややもすれば
 やり込める

やり方
 やり取り
 やり直し
 やり投げ
 やる{使いをやる, 読んでやる}
 柔肌
 柔らかい{柔らかい毛布, 物柔らかな態度}
 軟らかい{表情が軟らかい, 軟らかな土}
 柔らかだ
 軟らかだ
 柔らかみ
 和らぐ{気持ち气和らぐ, 和らいだ空気}
 和らげる

ゆ

湯上がり
 由緒[ゆいしよ]
 結い立て
 結う
 夕暮れ
湧出
 夕涼み
 有する{言い換え例「(…が)ある」「持っている」}
 悠然
 夕立
 夕映え
 夕べ
 夕焼け
 夕焼け雲
 悠々{悠々自適}
 故{故あって, 故なく}
 …ゆえ{それゆえ, 一部の反対のゆえに}
 ゆえに(接続詞){ゆえに, …}
 ゆえん{「所以」とは書かない; 言い換え例「理由」「訳、わけ」}
 浴衣

ゆがむ{「歪む」とは書かない}
 行き
 行き当たり
 行き当たる
 雪折れ
 雪下ろし
 行き帰り
 行き掛かり
 行き掛け
 行き方
 行き先
 行き過ぎ
 行き違い
 行き詰まり
 雪解け
 行き届く
 行き止まり
 行き悩み
 行き場
 行き道
 行き戻り
 行き渡る
 行く
 逝く
 行方[ゆくえ]{行方不明}
 行く先
 行く末
 行く手
 行く行く
 揺さぶる
 湯冷まし
 揺すぶる
 譲り
 譲り合う
 譲受け{名詞的用法}

譲受人
 譲り受ける
 譲り状
 譲渡し{名詞的用法}
 譲り渡す
 揺する
 譲る
 豊かだ
委ねる
 癒着
 湯漬け
 湯通し
 湯飲み
 指切り
 指さす
 指ぬき
 弓取り
 弓張り月
 ゆゆしい{「由々しい」とは書かない}
 揺らぐ
 揺り返し
揺り籠
 揺る
 緩い
 ゆるがせ
 揺るぎない
 揺るぐ
 許し
 許し難い
 許す
 緩み
 緩む
 緩める
 緩やかだ
 揺れ

揺れる	欲張り	四つ[よっつ]	読み上げる
結わえる	余計(費用が余計にかかる, 余計な心配)	よって(接続詞){よって…する}	読み誤り
湯沸かし	横合い	よって(前例によって処理する)	読み合わせ
湯沸器	横書き	酔っ払い	読み終わる
よ	横切る	四つ目垣	読替え{; 名詞的用法}
夜明かし	汚す	夜釣り	読替規定
夜明け	横たえる	夜通し	読み書き
夜遊び	横倒し	夜泣き	読み掛け
夜歩き	横倒れ	世慣れる	読み方
…(て)よい{連絡してよい}	横たわる	夜逃げ	読み切り
良い{頭が良い, 良い成績}	横付け	呼ばわる	読み手
善い{善い行い}	横取り	呼び合う	読み札
酔い	横流し	呼び起こす	読み物
酔い心地	横流れ	呼び返す	読む
宵越し	横降り	呼び掛け	詠む
酔い覚め	横向き	呼び掛ける	嫁入り
酔い倒れ	汚れ	呼び子	より{命令により, より少ない}
宵っ張り	汚れ物	呼び声	寄り{寄りが強い}
宵祭り	汚れる	呼び捨て	寄り合い
酔う	由[よし]{由ありげ, 知る由もない; 「…の由」言い換え例「…と」}	呼出し{; 名詞的用法}	寄り合い世帯
妖艶[ようえん]	よしず張り	呼出電話	寄り合う
用件{用件を済ます, 火急の用件}	世捨て人	呼出符号	寄り集まり
要件{資格要件, 要件を満たす}	寄席	呼び出す	寄り集まる
要項{募集要項, 話の要項を整理する}	寄せ集め	呼び付ける	寄り掛かる
要綱{法案の要綱, 計画の要綱}	寄せ集める	呼び値	より好み
(…を)要する{; 言い換え例「必要です」「必要があります」「必要とします」}	寄せ書き	呼び戻す	よりすぐる
要するに	寄せ木細工	呼び物	よりどころ{; 「拠所」とは書かない}
ようだ(助動詞){…のようだ}	寄せ算	呼び寄せる	より取り
ような(助動詞){このような計画}	寄せなべ	呼び鈴	より抜き
用立てる	寄せる	呼ぶ	寄り道
夜討ち	装い	夜更かし	因る{事故に因る後遺症}
用向き	装う	夜更け	よる{学説によると, 報道によれば}
ようやく(副詞){ようやく認められた}	四つ[よつ]	よほど(副詞){「余程」とは書かない}	寄る
よく(副詞){よく分かった, よく用いる}	四つ角	夜回り	寄る辺
	世継ぎ	読み	喜ばしい

喜ばず	りゆうちょう;「流暢」とは書かない	我が国	分ける
喜び	了解	若死に	若人[わこうど]
よろこび;「慶び」とは書かない	両替	沸かし湯	技[柔道の技, 技をみがく]
喜ぶ	両切り	沸かす	業[至難の業, 離れ業]
よろしく{どうぞよろしく, よろしくお願いします}	了承	分かち合う	わざと(副詞){わざわざ, わざとらしい}
弱い	両建て	分かち書き	災い
世渡り	了知; 言い換え例「了解」「理解」	分かつ	わざわざ(副詞)
弱まる	両刀使い	若作り	僅か
弱み	る	若やぐ	煩い
弱める	留守	分かる{気持ちが分かる}	煩う{思い煩う}
弱々しい	れ	わかる(分かる);「解る, 判る」とは書かない	患う{胸を患う}
弱る	戻入	別れ	煩わしい
ら	れんが	別れ話	煩わす{人手を煩わす}
…ら(接尾語){これら, 何ら, 我ら}	れんが造り	別れ道	忘れ形見
らく印	連携{野党同士が連携して審議に臨む}	別れ目	忘れ物
落書き	連係{連係動作, 連係を保つ}	分かれる{意見が分かれる, 勝負の分かれ目}	忘れる
楽焼き	連携協働;「・」を入れない	別れる{家族と別れて住む}	綿入れ
拉致	連合	若々しい	綿打ち
羅列	連絡	沸き	私[わたし]
濫用{権利の濫用, 職権濫用}	ろ	沸き上がる	渡し
り	漏えい;「漏洩」とは書かない	沸き返る	私ども;「私共」とは書かない
利上げ	労する{心身を労する}	沸き立つ	渡し場
力む	ろうする{策をろうする}	わきまえる	渡し船
陸揚げ	ろう引き	輪切り	渡す
陸揚地	露天掘り	…(が)わく{勇気がわく, 希望がわく}	わたって{全体にわたって検討する}
利食い	炉開き	沸く{湯が沸く}	わたり;「亘り」とは書かない
理屈	わ	湧く {温泉が湧く, 勇気が湧く}	渡り
利付き	賄賂	枠{枠を定める, 枠にはめる}	渡り合う
利付債券	若い	枠組み	渡り初め
立派	若返る	枠付け	渡り鳥
理詰め	我が;「吾が」とは書かない	枠作り	渡り廊下
利回り		…わけ{賛成するわけにはいかない}	渡る
留意; 言い換え例「注意」「配慮」「気を付けて」		訳{訳がある, 申し訳ない}	輪投げ
		分け前	わび住まい
		分け目	わびる;「詫びる」とは書かない

笑い
 笑い顔
 笑い声
 笑い上戸
 笑い話
 笑う
 わら包み
 割
 割合[集に1回の割合, 割合に早い]
 割当て[; 名詞的用法]
 割当額
 割り当てる
 割り印
 割り勘
 割り切る
 割り込む
 割り算
 割高
 割り出す
 割り注
 割り付け
 割に(副詞)[割に容易である]
 割り判
 割引
 割り引く
 割り符
 割り振り
 割り前
 割増し[; 名詞的用法]
 割増金
 割増金付
 割り表
 割戻し[; 名詞的用法]
 割戻金
 割り戻す

割安
 割る
 悪い
 悪さ
 我[われ][我々, 我ら]
 割れ
 割れ目
 割れ物
 割れる

< 使用した主な文献(順不同) >

文部省用字用語例(文部省)

文部省公用文送り仮名用例集(文部省)

文書事務の手引(静岡県)

議会用字用語例集(静岡県議会事務局)

「公用文の書き表し方の基準(資料集)」(文化庁)

「公用文表記の基礎知識」(財団法人矯正協会)

静岡県文書管理規程(抜粋)

平成13年3月31日訓令甲第6号

(文書等に用いる漢字の範囲等)

第10条 文書等に用いる漢字の範囲、音訓の範囲及び字体は、常用漢字表(平成22年内閣告示第2号)に定める字種、音訓及び通用字体によるものとする。ただし、固有名詞、専門用語等でこれにより難い特別の理由があると認められるものについては、この限りでない。

2 文書等における仮名遣いは、現代仮名遣い(昭和61年内閣告示第1号)の定めるところによるものとする。

3 文書等における送り仮名の付け方は、送り仮名の付け方(昭和48年内閣告示第2号)の定めるところによるものとする。

4 文書等における外来語の表記は、外来語の表記(平成3年内閣告示第2号)の定めるところによるものとする。

5 文書等におけるローマ字のつづり方は、ローマ字のつづり方(昭和29年内閣告示第1号)の定めるところによるものとする。

「新しい常用漢字表の告示に伴う公用文における漢字使用等について(通知)」平成22年12月7日文法第158号 各課(室)長、各出先機関の長あて 経営管理部長通知

公用文に用いる漢字の範囲、音訓の範囲及び字体については、静岡県文書管理規程(平成13年静岡県訓令甲第6号)第10条第1項で、常用漢字表に定める字種、音訓及び通用字体による旨を定めているところでありますが、平成22年11月30日に平成22年内閣告示第2号で新しい常用漢字表が告示されましたので、下記のとおり通知します。

なお、この通知に伴い、昭和56年12月14日付け学文第656号通知は、平成22年12月31日限りで廃止します。

記

1 新しい常用漢字表の適用の時期

新しい常用漢字表は、平成23年1月1日から適用する。

2 条例及び規則における漢字使用等について

条例及び規則における漢字使用等については、「法令における漢字使用等について(平成22年11月30日付け内閣法制局長官決定)」に準じて取り扱うこととする。

この取扱いは、条例については平成23年1月1日以降に開会する県議会に提出するものから、規則については平成23年1月1日以降に公布するものから、それぞれ適用する。

3 その他

公用文作成に当たっては、昭和56年12月14日付け学文第656号通知の廃止にかかわらず、引き続き次のとおり取り扱う。

(1) 文体について

文体は、「である」体と「ます」体を用いる。

ア「である」体を用いるもの

条例、規則、告示、訓令、契約書、要綱その他これに類するもの

イ「ます」体を用いるもの

行政処分書及びアに掲げる以外のもの

(2) 書き方について

ア 公用文は、次に掲げるものを除き、左横書きとする。

(ア) 法令の規定により、様式を縦書きと定められたもの

(イ) 他の官公庁が、特に様式を縦書きと定めたもの

(ウ) その他法務文書課長が、縦書きを要するものと認めたもの

イ 句読点は、「、」及び「。」を用いる。

ウ あて先名は、発信者名と対照的に用いることを原則とする(発信者名に職氏名を掲げるときには、あて先名にも職氏名を掲げ、発信者名に職名のみを掲げるときには、あて先名にも職名のみを掲げることとなる。)

エ 敬称は、原則「様」を用いる。